

令和 2 年度（2020年度）

推薦入試学生募集要項



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

推薦入試の試験日程等一覧

区分	学 部	学 科 ・ 課 程 等		募集 人員 (人)	出願情報の 登録期間	検定料の支払 期間及び出願 書類の提出期間	試験期日	合格者 発 表	入学手続 期 間	出願要件、推薦要件 等及び選抜方法等
推 薦 入 試 Ⅰ	法文学部	人文 社会 学科	「 昼 間 主 コ ー ス 」	15	10月18日 } 11月 7 日	11月 1 日 } 11月 7 日	11月24日	12月 6 日	12月16日 } 12月18日	14ページ参照
			「 夜 間 主 コ ー ス 」	10						16ページ参照
	理 学 部	理学科	生 物 学 コ ー ス	7						17ページ参照
			地 学 コ ー ス	12						19ページ参照
	工 学 部	工学科	機 械 工 学 コ ー ス	2						21ページ参照
			知能システム学コース	2						23ページ参照
			電気電子工学コース	5						25ページ参照
			コンピュータ科学コース	2						27ページ参照
			材料デザイン工学コース	2						29ページ参照
			化学・生命科学コース	3						31ページ参照
			社会基盤工学コース	5						33ページ参照
			社会デザインコース	3						35ページ参照
	農 学 部	食料 生産 学科	推薦A〔普通科又は理数に 関する学科対象〕	8			11月23日			25ページ参照
			推薦B〔専門教育を主とする 学科又は総合学科対象〕	10			11月24日			27ページ参照
		生命 機能 学科	推薦A〔普通科又は理数に 関する学科対象〕	3			11月23日			25ページ参照
			推薦B〔専門教育を主とする 学科又は総合学科対象〕	3			11月24日			27ページ参照
		生物 環境 学科	推薦A〔普通科又は理数に 関する学科対象〕	9			11月23日			25ページ参照
			推薦B〔専門教育を主とする 学科又は総合学科対象〕	7			11月24日			27ページ参照
推 薦 入 試 Ⅱ	教育学部	学校教育 教員養成 課程	初 等 教 育 小 学 校 コ ー ス サブコース	10	10月18日 } 11月 7 日	11月 1 日 } 11月 7 日	11月24日	2月 7 日	2月12日 } 2月14日	32ページ参照
	理 学 部	理学科	数 学 ・ 数 理 情 報 コ ー ス	10						11月23日 } 11月24日
			物 理 学 コ ー ス	5			11月24日			
	化 学 コ ー ス	8	38ページ参照							
	医 学 部	医学科	推 薦 A〔学校推薦〕	25			11月24日			41ページ参照
			推 薦 B〔地域特別枠推薦〕	5 ^(注1)						43ページ参照
	工 学 部	工学科	看 護 学 科	24	11月25日 } 12月13日	12月 9 日 } 12月13日	2月 1 日			45ページ参照
			機 械 工 学 コ ー ス	12						47ページ参照
			知能システム学コース	2						49ページ参照
			電気電子工学コース	15						51ページ参照
			コンピュータ科学コース	4						53ページ参照
			応用情報工学コース	8						55ページ参照
			材料デザイン工学コース	8						57ページ参照
			化学・生命科学コース	5						59ページ参照
			社会基盤工学コース	5						61ページ参照
	社会デザインコース	3	63ページ参照							

注1 推薦入試Ⅱの医学部医学科推薦B〔地域特別枠推薦〕については、現時点で確定している募集人員は5人であるが、これを20人となるように現在調整中である。確定次第、本学ホームページに掲載する。

出願方法はインターネット出願のみとなります。

志願者がパソコン等インターネット環境を持たない場合でも、保護者等の所有する端末や、公共施設等のパソコンのインターネット環境を利用するなどの方法で出願は可能です。

また、出願情報の登録期間内の平日9時から17時まで入試課窓口に出願用のパソコンを用意していますので、利用を希望する場合は事前に教育学生支援部入試課にご相談ください。

上記のいずれの方法によってもインターネット環境が利用できない場合は、令和元年10月17日(木)の17時まで(推薦入試Ⅱ工学部の場合は11月21日(木)の17時まで)に教育学生支援部入試課(〒790-8577 松山市文京町3番電話089-927-9172)までご相談ください。

目 次

教育学部の改組について

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

1	推薦入試の概要	1
2	募集人員	1
3	出願要件	2
4	出願方法及び出願手続	4
5	推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない。）	14
	法文学部 人文社会学科「昼間主コース」	14
	〃 「夜間主コース」	14
	理 学 部 理 学 科 生 物 学 コ ー ス	16
	〃 地 学 コ ー ス	16
	工 学 部 工 学 科 機 械 工 学 コ ー ス	17
	〃 知能システム学コース	17
	〃 電気電子工学コース	19
	〃 コンピュータ科学コース	19
	〃 材料デザイン工学コース	21
	〃 化学・生命科学コース	21
	〃 社会基盤工学コース	23
	〃 社会デザインコース	23
	農 学 部 食料生産学科 推薦A	25
	〃 生命機能学科	25
	〃 生物環境学科	25
	食料生産学科 推薦B	27
	〃 生命機能学科	27
	〃 生物環境学科	27
	試験期日及び試験時間	29
	合否判定基準	30
	合格者発表等	30
	入 学 手 続	30
6	推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す。）	31
	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	32
	理 学 部 理 学 科 数 学 ・ 数 理 情 報 コ ー ス	34
	〃 物 理 学 コ ー ス	34
	〃 化 学 コ ー ス	34
	医 学 部 医 学 科 推 薦 A	36
	〃 推 薦 B	38
	看護学科	41
	工 学 部 工 学 科 機 械 工 学 コ ー ス	43
	〃 知能システム学コース	43
	〃 電気電子工学コース	45
	〃 コンピュータ科学コース	47
	〃 応用情報工学コース	47
	〃 材料デザイン工学コース	49
	〃 化学・生命科学コース	51
	〃 社会基盤工学コース	53
	〃 社会デザインコース	55
	試験期日及び試験時間	57
	合否判定基準	57
	合格者発表等	58
	入 学 手 続	58
7	留意事項	59
8	合理的配慮を希望する入学志願者の出願	60
9	推薦書記入上の注意	61
10	入学手続及び初年度の諸経費	67
11	試験場・試験場案内・交通機関案内	69
12	入学試験個人成績及び調査書の開示	73
13	正解・解答例又は出題意図の開示	73
14	個人情報の取扱い	74
15	入学試験の照会方法	74
16	資料	75
	愛媛大学入試情報サービス	79

教育学部の改組について（令和２年４月改組）

愛媛大学は、下記のとおり、令和２年４月に教育学部を改組します。教育学部は、学校教育教員養成課程と特別支援教育教員養成課程を改組し、学校教育教員養成課程の１課程になります。

記

教育学部の改組（令和２年度）

（改組前）

課程・コース・専攻			
学校教育教員養成課程	初等教育	幼年教育サブコース	
	コ ー ス	小学校サブコース	
	中等教育 コ ー ス	言語・社会 教 育 系	国語教育専攻
			社会科教育専攻
			英語教育専攻
		自然科学系	数学教育専攻
			理科教育専攻
			技術教育専攻
		芸術・生活 健 康 系	音楽教育専攻
			美術教育専攻
			保健体育専攻
	家政教育専攻		
特別支援教育教員養成課程			



（改組後）

課程・コース・専攻		
学校教育教員養成課程	初等教育	幼年教育サブコース
	コ ー ス	小学校サブコース
	中等教育 コ ー ス	国語教育専攻
		社会科教育専攻
		英語教育専攻
		数学教育専攻
		理科教育専攻
		技術教育専攻
		音楽教育専攻
		美術教育専攻
		保健体育専攻
		家政教育専攻
特別支援教育コース		

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

法文学部

法文学部は、人文社会諸科学の知識を基盤とした幅広い教養と、実践的な知識を身につけた、汎用能力の高いグローバル人材の育成を目指します。グローバル化した現代社会においては、グローカル・マインド(glocal mind)（世界と自分が生きている地域とを有機的主体と捉え、地域の問題と世界全体の問題とを連関させてその解決策を考えようとする心の在り方）を持って、生涯にわたり学び続け、その成果を実践に活かせる人間を育成しなければなりません。このような理念・目的を達成するために、法文学部では、次のような資質や能力、意欲を持った学生を求めています。

（知識・理解）

1. 高等学校で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

（思考・判断）

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

3. 人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。

（技能・表現）

4. 所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

教育学部

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。そのために、学生は関係分野に関する専門的学識を修得し、子どもと多様にかかわり、そしてそれらを考察しつつ、資質能力の向上を図ります。

教育学部学校教育教員養成課程は、初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コースからなり、教育学部の理念・目的を達成するために、次のような資質能力を有する学生を求めます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

（知識・理解）

- ①高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（知識・理解、技能）

- ②教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、体育、音楽、美術などの実技能力を有している。

（思考・判断・表現）

2. 物事を多面的かつ論理的に思考・判断することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

（興味・関心・意欲）

3. 子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心を持ち、教師として社会に主体的に貢献する意欲を明確に有している。

（態度）

4. 積極的に多様な他者と協働し、対話を通して主体的に相互の理解に努めようとする態度を有している。

理 学 部

科学は、数理、物質、自然、生命を支配する原理や法則を探究する学問であり、身の回りの「何故」に対する合理的な答えを知りたいという知的好奇心が積み重なって発展してきました。理学部は、数学・数理情報、物理学、化学、生物学、地学の理学5基幹分野を基盤に、宇宙・地球・環境に関連する学際的分野に携わる先端研究・学術推進機構の研究センター群と協働して教育・研究を実施しています。理学部は、数理・物質・自然・生命にかかわる事柄に広く興味を持ち、科学を体系的に学習して理系人材として社会で活躍しようと志す入学者を受け入れ、各教育コースの特徴ある専門教育を通して汎用能力を有す理系人材として育成し、社会に送り出します。この目的のために、理学部では次のような入学者を求めます。

1. 高校課程修了レベルの知識・教養を広く修得しており、自律的に学習を進める準備がある。
2. 高校課程の数学または理科の十分な基礎学力を有し、数理・物質・自然・生命の探究に興味を持ち、科学をさらに深く学び理解しようとする意志がある。
3. 物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
4. 継続的な学習により成長し、倫理観・責任感をもって主体的に社会とかかわり貢献しようと志している。

医 学 部

医学部の基本理念は「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」です。これは、「医療人は生涯にわたって病める人の身になって病苦と取り組み、人々の健康と福祉に貢献する」という精神を含んでいます。この理念に基づき、医学部は医学・看護学の知識や技術を教育するだけでなく、人間の尊厳を重んじる豊かな人間性と幅広い教養を育み、深い洞察力と生命倫理や生命の尊厳に対する深い認識を備えた医療人の育成をめざしています。また、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける態度を身につけるため、少人数による課題探求型の教育にも力を入れています。地域医療を含む日本の保健・医療・福祉に広く貢献できる人材の育成を目指し、一般入試に加えて、学校推薦や自己推薦などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、医学部は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・理解、思考・判断）

1. 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

（興味・関心・意欲、態度）

2. 人間が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
3. 医学・医療に対する意欲や関心度が高く、この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。
4. 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。

（技能・表現）

5. 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、周囲の人と良好な関係を保つことができる。
6. 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

工 学 部

工学部工学科は、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指します。そのため、工学科では次のような人物を求めます。

（知識・理解）

1. 本学科の専門分野を学ぶために必要な、高等学校卒業レベルの基礎学力を有している。

（思考・判断、技能・表現）

2. 物事を多面的に考察し、論理的にまとめ表現することができる。

3. 自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

4. 工学の分野に興味を持ち、習得した知識・技術を地域社会あるいは国際社会に役立てたいと考えている。

（主体性・多様性・協働性）

5. 主体的に多様な経験を得ようとする意欲を有している。

6. 多様な他者と関わり、相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有している。

農 学 部

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を求めます。そのため、一般入試に加えて、学校推薦や自己推薦などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、農学部は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・理解）

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。

2. 次のいずれかに該当する。

A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。

B. 農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

（思考・判断）

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

（技能・表現）

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

◇ 各学科・課程等のアドミッション・ポリシーは、本学ホームページでご確認ください。

https://www.ehime-u.ac.jp/faculty/educational_policy/policy_3_dept/

1 推薦入試の概要

(1) 推薦入試Ⅰ…大学入試センター試験を課さない推薦入試

入学者選抜において、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、書類審査、面接、小論文及び総合問題により合格者を決定します。

(注) 学部等により選抜方法が異なりますので、14ページから30ページを参照してください。

(2) 推薦入試Ⅱ…大学入試センター試験を課す推薦入試

入学者選抜において、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、書類審査、面接、グループディスカッション、小論文、総合問題及び大学入試センター試験の成績により合格者を決定します。

(注) 学部等により選抜方法が異なりますので、31ページから58ページを参照してください。

2 募 集 人 員

※推薦できる人数については、分校と本校とは別に1校として取り扱います。また、複数の課程（全日制、定時制、通信制）を置く学校については、各課程ごとに別枠で推薦できるものとします。

※「高等学校」には、中等教育学校を含みます。（以下同じ。）

区分	学 部		学 科 ・ 課 程 等		募集人員 (人)	備 考
推 薦 入 試 I	法文学部	人文 社会 学科	「 昼 間 主 コ ー ス 」		15	1 学校につき 3 人以内とする。
			「 夜 間 主 コ ー ス 」		10	1 学校につき 3 人以内とする。 ^{注 1}
	理 学 部	理学科	生 物 学 コ ー ス		7	1 学校につき 3 人以内とする。
			地 学 コ ー ス		12	〃
	工 学 部	工学科	機 械 工 学 コ ー ス		2	工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象
			知能システム学コース		2	〃
			電気電子工学コース		5	〃
			コンピュータ科学コース		2	普通科，工業に関する学科，情報に関する学科，理数に関する学科又は総合学科対象
			材料デザイン工学コース		2	工業に関する学科又は総合学科対象
			化学・生命科学コース		3	普通科，理数に関する学科又は総合学科対象
			社会基盤工学コース		5	普通科，工業に関する学科，理数に関する学科又は総合学科対象 1 高等学校につき 2 人以内とする。
			社会デザインコース		3	〃
	農 学 部	食 料 生 産 学 科			8	推薦 A [普通科又は理数に関する学科対象]
					10	推薦 B [専門教育を主とする学科又は総合学科対象]
		生 命 機 能 学 科			3	推薦 A [普通科又は理数に関する学科対象]
					3	推薦 B [専門教育を主とする学科又は総合学科対象]
		生 物 環 境 学 科			9	推薦 A [普通科又は理数に関する学科対象]
					7	推薦 B [専門教育を主とする学科又は総合学科対象]
推 薦 入 試 II	教育学部	学校教育 教員養成 課程	初 等 教 育 コ ー ス	小 学 校 サ ブ コ ー ス	10	1 学校につき 2 人以内とする。
	理 学 部	理学科	数 学 ・ 数 理 情 報 コ ー ス		10	1 学校につき 3 人以内とする。
			物 理 学 コ ー ス		5	〃
			化 学 コ ー ス		8	〃
	医 学 部	医 学 科			25	推薦 A [学校推薦] 1 学校につき 5 人以内とする。
					5 ^{注 2}	推薦 B [地域特別枠推薦]
	工 学 部	工学科	看 護 学 科		24	
			機 械 工 学 コ ー ス		12	
			知能システム学コース		2	
			電気電子工学コース		15	
			コンピュータ科学コース		4	
			応用情報工学コース		8	
			材料デザイン工学コース		8	普通科，工業に関する学科，理数に関する学科又は総合学科対象
			化学・生命科学コース		5	〃
			社会基盤工学コース		5	〃
	社会デザインコース		3	〃		

注 1 詳細は14ページを参照してください。

注 2 推薦入試Ⅱの医学部医学科推薦 B [地域特別枠推薦]については、現時点で確定している募集人員は 5 人であるが、これを 20 人となるように現在調整中である。確定次第、本学ホームページに掲載する。

3 出 願 要 件

推薦入試Ⅰ

学 部	学科・課程等		出 願 要 件
法文学部	人 文 社 会 学 科	「昼間主コース」	次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者 ① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者 ② 合格した場合は入学を確約できる者
		「夜間主コース」	次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内（既卒者を除く。）とする。 (1) 高等学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者 ① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者 ② 合格した場合は入学を確約できる者
理学部	理 学 科	生物学コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
		地学コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
工学部	工 学 科	機械工学コース (工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象)	高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		知能システム学コース (工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象)	高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		電気電子工学コース (工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象)	高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		コンピュータ科学コース (普通科、工業に関する学科、情報に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		材料デザイン工学コース (工業に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の工業に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		化学・生命科学コース (普通科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、理数に関する学科又は総合学科（ただし、いずれも「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「化学若しくは理数化学」を修得又は修得見込みの者）を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学業成績、人物ともに優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		社会基盤工学コース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの ただし、推薦できる者は、1高等学校につき2人以内とする。 (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		社会デザインコース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの ただし、推薦できる者は、1高等学校につき2人以内とする。 (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
農学部	食 生 生 料 命 物 生 機 環 産 能 境 学 学 学 科 科 科	(普通科又は理数に関する学科対象) 〔推薦A〕	次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者 ① 普通科又は理数に関する学科を卒業又は修了見込みの者 ② 学力、人物が優秀な者 ③ 合格した場合は入学を確約できる者 ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者
		(専門教育を主とする学科又は総合学科対象) 〔推薦B〕	次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者 ① 専門教育を主とする学科（理数に関する学科を除く。）、総合学科を卒業又は修了見込みの者 ② 学力、人物が優秀な者 ③ 合格した場合は入学を確約できる者 ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者

推薦入試Ⅱ

学 部	学科・課程等		出 願 要 件
教育学部	学員 学校教育課程	初等教育 コース 小学校 サブコース	高等学校を令和2年3月卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき2人以内とする。
理学部	理 学 科	数学・数理情報コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
		物理学コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
		化学コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
医学部	医 学 科	(学校推薦) 〔推薦A〕	以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、医学の研究者あるいは臨床医としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの。ただし、推薦できる者は、1学校につき5人以内とする。 (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
		(地域特別枠推薦) 〔推薦B〕	・愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること ・幅広い総合的な診療能力を身につけることを通して、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること ・合格した場合は入学を確約できること ・入学後に愛媛県の奨学金を受給し、卒業後に愛媛県知事が指定する医療機関において9年間以上勤務する義務に同意すること 以上の全てについて学校長が責任をもって推薦できる者で、以下のいずれかに該当するもの (1) 愛媛県内の高等学校を平成31年3月以降に卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者 (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月以降に修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
	看護学科		以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、看護学・保健学の研究者、教育者あるいは臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
工学部	工 学 科	機械工学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		知能システム学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		電気電子工学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」、「物理若しくは理数物理」、「化学若しくは理数化学」の全てを修得又は修得見込みの者）を令和2年3月に卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		コンピュータ科学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		応用情報工学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		材料デザイン工学コース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		化学・生命科学コース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		社会基盤工学コース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		社会デザインコース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者

注意： 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含める。）への出願は、1つの大学・学部に限られています。
ただし、1つの大学・学部の推薦入試募集単位（学科・課程）について、大学入試センター試験を課さない推薦入試で不合格となった場合は、同一の学科・課程の大学入試センター試験を課す推薦入試に出願することができます。
※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

令和2年3月卒業見込みの者には、平成31年4月以降に卒業を認められたものを含みます。

4 出願方法及び出願手続

(1) 出願方法（インターネット出願）

出願方法はインターネット出願のみです。

以下の方法により、インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の必要書類を郵送してください。

- ① インターネット出願サイトへのユーザー登録
- ② 出願情報の入力
- ③ 検定料の支払＊
- ④ 出願書類の郵送

これらの詳細な手続きについては、6 ページから 9 ページを確認してください。

＊検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合
- (2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合

※免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学ホームページをご覧ください。(https://www.ehime-u.ac.jp/post-94204/)

(2) 出願受付期間

推薦入試 I

法文学部	人文社会学科「昼間主コース」, 「夜間主コース」
理 学 部	理学科 生物学コース, 地学コース
工 学 部	工学科 機械工学コース, 知能システム学コース 電気電子工学コース, コンピュータ科学コース 材料デザイン工学コース, 化学・生命科学コース 社会基盤工学コース, 社会デザインコース
農 学 部	食料生産学科, 生命機能学科, 生物環境学科

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月 7 日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月 1 日(金) 0 時～11月 7 日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月 1 日(金)～11月 7 日(木)〔11月 7 日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月 8 日(金)以降に配達されたもののうち、11月 7 日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

推薦入試Ⅱ

教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース
理学部	理学科 数学・数理情報コース，物理学コース，化学コース
医学部	医学科，看護学科

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので，出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお，出願書類は，出願書類の提出期間内に配達されたもの，及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち，11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

工学部	工学科 機械工学コース，知能システム学コース 電気電子工学コース，コンピュータ科学コース 応用情報工学コース，材料デザイン工学コース 化学・生命科学コース，社会基盤工学コース，社会デザインコース
-----	--

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので，出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお，出願書類は，出願書類の提出期間内に配達されたもの，及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち，12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(3) 出願書類の送付先（推薦入試Ⅰ，Ⅱ共通）

出願書類の送付方法については，8ページ「STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。

学部	送付先	所在地	電話
法文学部	法文学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9221
教育学部	教育学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
理学部	理学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9546
医学部	医学部入試係	〒791-0295 東温市志津川454	089-960-5175
工学部	工学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697
農学部	農学部入試係	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号	089-946-9648

(4) 出願手順, 支払方法, 出願書類

1) 出願手順

インターネット出願の流れ



出願情報の入力完了しても、検定料の支払期間になるまでは先の操作（STEP 6）に進むことができません。

出願前の確認・準備

①インターネット環境の確認

パソコンやスマートフォン、タブレット端末からインターネットを通じて出願情報の登録を行います。一部の携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコン等を用意してください。

また、自宅にインターネット環境がない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコン等を利用できるように確認してください。

【推奨環境】

パソコン	Windows : Internet Explorer 11.x Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン) MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 5.0以上 (Android Chrome最新バージョン) iOS : 10.0以上 (Safari最新バージョン)
ブラウザの設定 : JavaScriptを有効にする。Cookieを有効にする。 その他必要なソフトウェア条件 : インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader 11.0以上を推奨します。	

【注意】

- ・セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問合せください。
- ・スマートフォン、タブレット端末を使用する場合、PDFファイルの印刷を行うために相応の知識が必要となります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（GmailやYahoo!メールなど）や携帯電話のメールアドレスでもかまいませんが、携帯メールの場合は、「@postanet.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

出願登録完了時・検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）を利用できます。

9ページの「2)支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ（JPEG形式、3MBまで）のアップロードが必要です。上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4：横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。

また、調査書等の必要書類も準備しておいてください。必要書類の詳細については、10ページの「3)出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用〔角形2号封筒（24cm×33.2cm）〕及び受験票等返信用〔長形3号封筒（12cm×23.5cm）〕の市販の封筒が必要です。返信用封筒に貼る切手の額は、10ページの「3)出願書類」で確認してください。

STEP1 愛媛大学入試情報から「インターネット出願」へアクセス

愛媛大学入試情報>インターネット出願

https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/net_app/



四国国立5大学インターネット出願(ログイン画面)



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。

STEP2 ユーザー登録

「新規登録」からユーザーID（メールアドレス）を登録すると、パスワード設定用のURLを記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@postanet.jp」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザーID・パスワードでログインし、「愛媛大学」を選択後、画面に沿って出願先、個人情報（写真データを含む。）等を入力してください。

学部・入試区分選択画面



志望学科課程等選択画面



志願者情報の入力画面



写真アップロード画面



STEP4 出願書類の作成（学部により種類が異なります。）

11ページ「(5) 出願書類入力上の注意」をよく読んで入力してください。

教育学部：「調査」、「活動報告書」

医学部（医学科 推薦B）：「自己推薦書」

工学部：「活動報告書」

STEP5 出願情報の確認

出願情報の最終確認です。

確認画面で登録内容に間違いがないか確認してください。これ以降は修正できません。

STEP6 検定料の支払

(令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
推薦入試Ⅱ 工学部については令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時)

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。(詳細は9ページ「2」支払方法」を参照。)

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される支払に必要な情報をメモしてください。

(例)コンビニエンスストアを選択した場合の画面

支払い内容

ファミリーマートでのお支払い	FamilyMart
お支払い金額	22,000円
第1番号(企業コード)	XXXXX
第2番号(注文番号)	XXXXXXXXXX
お支払い情報送信	XXXXX @ xxx.xx.jp

支払い手順

1. このページを印刷し、または「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」を正確にメモしてください。
2. ファミリーマート店舗の「FamilyMart」のトップメニューから「Pay-easy」→「Pay-easy」を選択し、「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」の順に入力してください。
3. 発着された「FamilyMart」をレジで提示し、支払いください。

支払手続が完了しないと、「STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料支払後に届く「インターネット出願支払完了メール」記載のURL、又はインターネット出願サイトログイン後画面の出願履歴のいずれかからアクセスして、インターネット出願票・宛名票等をダウンロードしてください。

インターネット出願票・宛名票等の確認

A4サイズで片面印刷してください。カラー・白黒は問いません。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

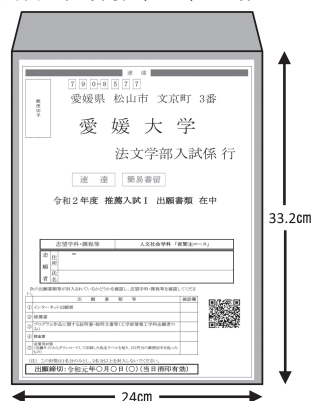
出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、10ページ「3」出願書類」を確認してください。

郵送の準備

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角2封筒に宛名票(A4)を貼りつけてください。



郵送

「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。

【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。

インターネットで入力が完了していても、出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。

2) 支払方法

検定料：17,000円（法文学部「夜間主コース」は10,000円）

※別途、手数料が550円かかります。

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）の3種類の支払方法があります（支払方法／取扱い金融機関は、下にあるものに限りです）。それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。一度選択した支払方法は変更できませんので、注意してください。

なお、支払済の検定料は13ページの「(7) 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。

クレジットカード（日本国内・国外とも利用可）	
【支払期間】 令和元年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時 （推薦入試Ⅱ工学部については、令和元年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時）	
• JCB • Visa • MasterCard • Amex • Diners	これ以外のカードは利用できません。 カードの名義は志願者本人の名義でなくても可 支払方法は一括払のみ （カードの利用限度額を確認した上で利用してください。）     

コンビニエンスストア（日本国内のみ利用可）	
【支払期間】 令和元年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時 （推薦入試Ⅱ工学部については、令和元年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時） 「STEP6 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続をしてください。	
• セブンイレブン 	レジで「インターネットショッピング代金の支払い」と伝えて手続後、現金支払
• ローソン • ミニストップ  	「Loppi」で手続後、レジで現金支払
• ファミリーマート 	「Famiポート」で手続後、レジで現金支払
• デイリーヤマザキ • ヤマザキデイリーストア  	レジで「オンライン決済」と伝えて手続後、現金支払
• セイコーマート 	「クラブステーション」で手続後、レジで現金支払

Pay-easy（ペイジー）（日本国内のみ利用可）	
【支払期間】 令和元年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時 （推薦入試Ⅱ工学部については、令和元年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時） 「STEP6 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインターネットバンキングで支払手続をしてください。	
• 金融機関ATM 対象金融機関（ゆうちょ銀行等）のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。 ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 	
• インターネットバンキング インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 志願者本人の名義でなくても可	

上記の情報は、学生募集要項作成時のもので、今後変更されることがあります。
 最新情報は、出願サイトで確認してください。

インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ
 出願操作サポート窓口（コールセンター）

受付期間：出願受付期間中

受付時間：平日午前9時～午後5時（土日・祝日・年末年始を除く。）

電話番号：075-211-6556（運営会社：京都電子計算株式会社）

3) 出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

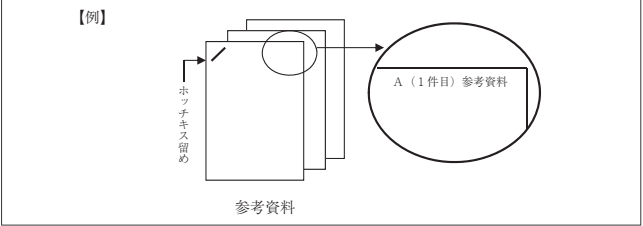
書 類 等	摘 要	送付を要する者
インターネット出願票	出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの なお、推薦入試Ⅱに出願する者のうち、工学部に出願するものは所定の箇所に「令和2センター試験成績請求票[推薦]国公立推薦入試用」を必ず貼ってください。 出願書類提出時に、成績請求票（センター試験受験票）が届いていない場合には、成績請求票貼付欄に「成績請求票未着」と朱書きして出願してください。 なお、成績請求票は到着次第、速やかに5ページ「(3) 出願書類の送付先」へ持参または郵送（速達・簡易書留郵便）してください。 教育学部、理学部及び医学部にあつては出願時に「令和2センター試験成績請求票[推薦]国公立推薦入試用」を貼る必要はありません。 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。	全 員 ただし、センター試験成績請求票は、推薦入試Ⅱの工学部に出願する者のみ
推 薦 書	愛媛大学ホームページからダウンロードした本学所定の様式（A4片面1枚）に、出身学校長が手書き又はワープロ入力（10.5pt）で記入し、厳封したもの（注1） 記入にあたっては、本募集要項61ページ「9 推薦書記入上の注意」を参照してください。	全 員
意 思 確 認 書	愛媛大学ホームページからダウンロードした本学所定の様式に、必要事項を手書きで記入したもの（注1）	医学部医学科（地域特別枠推薦）[推薦B] 志願者のみ
活 動 報 告 書	出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 詳細は11ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	教育学部・工学部志願者
調 査 書		教育学部志願者のみ
自 己 推 薦 書		医学部医学科（地域特別枠推薦）[推薦B] 志願者のみ
活 動 報 告 書 の 参 考 資 料	[教育学部] 活動報告書「意欲的に取り組んだ活動」の入力内容を補足、アピールする資料（任意） 活動報告書「課題研究等」の入力内容を補足、アピールする資料（任意） 活動報告書「資格・検定等」に入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須） [工学部] 活動報告書「意欲的に取り組んだ活動」の入力内容を補足、アピールする資料（任意） 活動報告書「資格・検定等」に入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須） 詳細は11ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	教育学部・工学部志願者
調 査 書	所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの	全 員
返 信 用 封 筒 （受験票送付用）	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードし、A4サイズで印刷後切り抜いた宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 384円分の郵便切手を必ず貼ってください。	全 員
返 信 用 封 筒 （第1段階選抜結果通知送付用）	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷後切り抜いた返信用封筒宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 704円分の切手を必ず貼ってください。	教育学部・理学部・医学部の、推薦入試Ⅱ志願者のみ

注1 様式は愛媛大学ホームページ>入試情報>学生募集要項ダウンロード（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>）からダウンロードできます。

注2 出願後、住所（志願者連絡先）が変わった場合は、速やかに志願学部の入試係に連絡してください。

* インターネット出願票等提出後の、志望学科・課程・コース等の変更は認められませんので、インターネット出願情報入力の際は、該当事項をよく読んで誤りのないよう正確に入力してください。

(5) 出願書類入力上の注意

学 部 等	書 類	注 意 点 等
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	調 書	志望の動機について、志願者本人が作成してください。1,000文字まで入力できます。
	活動報告書	A, B, Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・B・Cすべて（合計5枚）郵送してください。 A「意欲的に取り組んだ活動」 B「課題研究等」 C「資格・検定等」 次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。 A「意欲的に取り組んだ活動」 中学校卒業後に意欲的に取り組んだ活動について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動（吹奏楽・合唱・ピアノ独奏・造形活動・展覧会発表など）、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、課題研究等に関する活動はA「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B「課題研究等」に入力してください。 【注意事項】 - 活動の説明として、300字まで入力できます。これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。 「意欲的に取り組んだ活動」は全部で3件まで入力できます。3件は上限であり、入力した件数だけで評価することはありません。 - 次の要領で参考資料を提出することができます。 - 参考資料は入力した内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。 - 参考資料の提出は任意ですが、提出する場合は参考資料の入力欄に、何を提出するかを入力してください。 - 参考資料は調査書などの書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。 - 参考資料は原則として、紙とします。原本でもコピーでも構いませんが、返還しません。 - すべての資料はA4サイズとし、サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーをとってください。写真などの小型のものは、用紙へ貼り付けるのではなく、A4用紙にコピーしてください。資料はA4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。 - 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。 - 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めし、1枚目の右肩に「A（〇件目）参考資料」と明記してください。なお、活動報告書Aはホッチキス留めせずに提出してください。 【例】  B「課題研究等」 課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。 【注意事項】 - 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う1件について、入力してください。 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ300字まで入力できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。 - 課題研究等に関して大学から問合せを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問合せ先（指導教員名）」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍（出身）校の教員でない場合は、その教員の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。 - 次の要領で参考資料を提出することができます。 - 参考資料は入力した内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。 - 参考資料の提出は任意です。提出する場合は、「3. 課題研究等の概要や成果」欄に何を提出するか明記してください。

学 部 等	書 類	注 意 点 等
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	活動報告書	(3) 参考資料は調査書などの書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。 (4) 参考資料は原則として、紙とします。原本でもコピーでも構いませんが、返還しません。 (5) すべての資料はA 4サイズとし、サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーをとってください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A 4用紙にコピーしてください。資料はA 4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。 (6) 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。 C「資格・検定等」 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等について入力してください。取得等の時期は問いません。 【注意事項】 1. 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。 2. 合格証書や認定書、スコアシート等（以下、証拠書類）が手元にない場合は入力してはいけません。 3. 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。 4. 「取得等の年月」は、証拠書類に即して入力してください。 5. 証拠書類のコピーを他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。
医学部医学科 〔推薦B〕(地域特別枠推薦)	自己推薦書	本募集要項40ページの「愛媛大学医学部の基本理念等」を参照しつつ、志願者本人が入力してください。2,000字まで入力できます。
工 学 部	活動報告書	活動報告書は、「意欲的に取り組んだ活動」と「資格・検定等」の2種類あります。このうち、「意欲的に取り組んだ活動」に関する入力項目は必須です。「資格・検定等」に関しては、入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。 「意欲的に取り組んだ活動」 (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等*1、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。 * 1 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。 (2) 入力項目は以下のとおりです。 ① 活動の名称 ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。） ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。） ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。） (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。 (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。 ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。 ② 参考資料の添付は任意ですが、添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和元年7月5日〇△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。 ③ 参考資料はA 4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA 4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、A 4サイズの紙に貼り付けるか、A 4サイズの用紙にコピーしてください。なお、参考資料は返還しません。 ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにタッチキス止めしてください。1枚目の右肩に「意欲的に取り組んだ活動」（〇件目）参考資料」と明記してください。（「意欲的に取り組んだ活動」が1件の場合は明記不要です。）

学 部 等	書 類	注 意 点 等
工 学 部	活動報告書	「資格・検定等」 (1) 入力とは任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。 (2) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等と取得等の時期を入力します。 (3) 取得等の時期は問いません。 (4) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。 (5) 合格証書や認定書、スコアシート等が手元にない場合は入力してはいけません。 (6) 「資格・検定・試験等の名称」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に記載されている正式なものを入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。 (7) 「取得等の年月」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に即して入力してください。 (8) 合格証書、認定書、スコアシート等のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。コピーはA4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

(6) 受験票等の発送

【推薦入試Ⅰ及び推薦入試Ⅱの教育学部、理学部及び医学部】

受験票等は、令和元年11月12日(火)頃発送します。

なお、受験票等が令和元年11月18日(月)までに未着の場合は、出願した学部の入試係へ連絡してください。

【推薦入試Ⅱの工学部】

受験票等は、令和元年12月25日(水)頃発送します。

なお、受験票等が令和2年1月3日(金)までに未着の場合は、工学部の入試係へ連絡してください。

(7) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〈返還請求の方法〉

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577
愛媛県松山市道後樋又10番13号
愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
電話 089-927-9074, 9077
Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp

(8) 注意事項

- ① 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても、出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、各学部入試係（74ページ参照）の連絡先に連絡してください。また、出願書類は返還しません。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ③ 「愛媛大学受験票」と「大学入試センター受験票」は、個別学力検査受験及び入学手続並びに入学試験個人成績等開示の際に必要なので、紛失したり、汚損したりすることのないよう大切に保管しておいてください。

5 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない。)

法 文 学 部

人文社会学科「昼間主コース」
// 「夜間主コース」

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 人文社会学科「昼間主コース」

次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者
ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。

(1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者

① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者

② 合格した場合は入学を確約できる者

2) 人文社会学科「夜間主コース」

次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者
ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内（既卒者を除く。）とする。

(1) 高等学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者

① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者

② 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については、29ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

法文学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

小論文，面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	小論文	面接	推薦書 調査書	計
人文社会科学科	「昼間主コース」		400	200	200	800
	「夜間主コース」		400	200	200	800

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は 出題意図の開示時期
人文社会科学科 「昼間主コース」 「夜間主コース」	小論文	以下の諸点を評価の目安とする。 1. 題意を十分把握していること。 2. 具体的な考察がなされていること。 3. 論理的な考察がなされ，論理の逸脱，飛躍がないこと。 4. 構想力が優れていること。 5. 表現力が優れていること。 6. 発想がユニークであること。 7. 誤字・脱字のないこと。	令和元年12月6日(金) 午前10時
	面接	勉学意欲，目的意識を中心に，基礎的知識，理解力，表現力，態度などを総合的に評価する。	
	推薦書 調査書	学業成績，人物，特別活動，入学動機，卒業後の進路などについて，評定平均値や「指導上参考となる諸事項」の記載内容を含めて，総合的に評価する。	

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の1)又は2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの

ただし、推薦できる者は、1学校につき各コース3人以内とする。

- 1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については、29ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

理学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	面接	推薦書 調査書	計
理 学 科	生 物 学 コ ー ス		200	100	300
	地 学 コ ー ス		200	100	300

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
理学科 生物学コース 地学コース	面接	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、理解力、表現力などについて総合的に評価する。
	推薦書 調査書	学業成績、人物、特別活動、進路・動機などについて総合的に評価する。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については、29ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書、調査書及び活動報告書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、面接は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*）、物理（物理基礎）に関する口頭試問を含みます。

*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	面接	推薦書 調査書 活動報告書	計
工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス		400	200	600
	知能システム学コース		400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採 点 ・ 評 価 基 準 （ 一 般 的 基 準 ）
工学科 機械工学コース 知能システム学コース	面 接	基礎的知識・学力，目的意識，勉学意欲，自己表現力などについて総合的に評価する。
	推 薦 書 調 査 書 活動報告書	「知識・理解」，「思考・判断，技能・表現」，「興味・関心・意欲，態度」，「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には，活動報告書は志願者が主体的，意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績，人物，特別活動，進路・動機などを総合的に評価する。なお，推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 電気電子工学コース

高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

2) コンピュータ科学コース

高等学校の普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

(1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの

(2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については、29ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書、調査書及び活動報告書の内容により、可否判定基準に基づき判定します。

なお、電気電子工学コースの面接は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*）、物理（物理基礎、電気基礎）、英語に関する口頭試問を含みます。

*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。

コンピュータ科学コースの面接は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*）に関する口頭試問を含みます。

*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等 \ 教科等		面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
工 学 科	電気電子工学コース	400	200	600
	コンピュータ科学コース	400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
工学科 電気電子工学コース コンピュータ科学コース	面 接	基礎的知識・学力，目的意識，勉学意欲，自己表現力などについて総合的に評価する。
	推 薦 書 調 査 書 活動報告書	「知識・理解」，「思考・判断，技能・表現」，「興味・関心・意欲，態度」，「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には，活動報告書は志願者が主体的，意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績，人物，特別活動，進路・動機などを総合的に評価する。なお，推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 材料デザイン工学コース

高等学校の工業に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者

2) 化学・生命科学コース

高等学校の普通科、理数に関する学科又は総合学科(ただし、いずれも「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「化学若しくは理数化学」を修得又は修得見込みの者)を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- (1) 学業成績、人物ともに優秀な者
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については、29ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書，調査書及び活動報告書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

なお，材料デザイン工学コースの面接は，数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B*），理科（化学基礎，物理基礎）に関する口頭試問を含みます。

*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。

化学・生命科学コースの面接は，本コースに関する口頭試問（化学，化学基礎に関する口頭試問）を含みます。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
工 学 科	材料デザイン工学コース		400	200	600
	化学・生命科学コース		400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
工学科 材料デザイン工学コース 化学・生命科学コース	面 接	目的意識，勉学意欲，基礎的知識，自己表現力などについて総合的に評価する。
	推 薦 書 調 査 書 活動報告書	「知識・理解」，「思考・判断，技能・表現」，「興味・関心・意欲，態度」，「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には，活動報告書は志願者が主体的，意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績，人物，特別活動，進路・動機などを総合的に評価する。なお，推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，工業に関する学科，理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

ただし，推薦できる者は，1 高等学校につき各コース2人以内とする。

- 1) 学習成績概評Aに属する者のうち，人物が優秀なもの
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので，出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお，出願書類は，出願書類の提出期間内に配達されたもの，及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち，11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については，29ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書，調査書及び活動報告書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

なお，面接は国語，数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B*），英語に関する口頭試問を含みます。

*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
工 学 科	社会基盤工学コース		400	200	600
	社会デザインコース		400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採 点 ・ 評 価 基 準 （ 一 般 的 基 準 ）
工学科 社会基盤工学コース 社会デザインコース	面 接	目的意識，勉強意欲，基礎的知識，自己表現力などについて総合的に評価する。
	推 薦 書 調 査 書 活動報告書	「知識・理解」，「思考・判断，技能・表現」，「興味・関心・意欲，態度」，「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には，活動報告書は志願者が主体的，意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績，人物，特別活動，進路・動機などを総合的に評価する。なお，推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
- ① 普通科又は理数に関する学科を卒業又は修了見込みの者
- ② 学力、人物が優秀な者
- ③ 合格した場合は入学を確約できる者
- ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、志望動機が明確な者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月23日(土)

詳細については、29ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

農学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

総合問題、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

教科等	総合問題	面接	計
配点	100	100	200

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

食料生産学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力，国語力，基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和元年12月6日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識，食料生産に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲，自己表現力について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし，面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては，必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし，面接の評価点に含める。	

生命機能学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力，国語力，基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和元年12月6日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識，生命機能に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲，自己表現力について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし，面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては，必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし，面接の評価点に含める。	

生物環境学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力，国語力，基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和元年12月6日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識，生物環境に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲，自己表現力について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし，面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては，必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし，面接の評価点に含める。	

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者
- ① 専門教育を主とする学科（理数に関する学科を除く。）、総合学科を卒業又は修了見込みの者
- ② 学力、人物が優秀な者
- ③ 合格した場合は入学を確約できる者
- ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については、29ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

農学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

総合問題、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。なお、面接は、推薦書に記入された、各コースごとに実施します。

(6) 個別学力検査等の配点

教科等	総合問題	面接	計
配点	100	100	200

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

食料生産学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和元年12月6日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識、食料生産に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自己表現力について評価する。 なお、農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術についても評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

生命機能学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和元年12月6日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識、生命機能に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自己表現力について評価する。 なお、生命化学、食品科学などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術についても評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

生物環境学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和元年12月6日(金) 午前10時
面接	高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識、生物環境に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自己表現力について評価する。 なお、森林、農業土木、環境などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術についても評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
調査書	評定平均値や「指導上参考になる諸事項」として記載された内容を含めて評価する。これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

試験期日及び試験時間

学 部	学 科 ・ 課 程 等		試 験 期 日 等
法文学部	人文社会学科「昼間主コース」 「夜間主コース」		令和元年11月24日(日)午前 9 時から 小論文 (100分), 面接 (口頭試問を含む。)
理学部	理学科	生物学コース 地学コース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (口頭試問を含む。)
工学部	工学科	機械工学コース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (数学 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B*), 物理 (物理基礎) に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。)
		知能システム学コース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (数学 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B*), 物理 (物理基礎) に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。)
		電気電子工学コース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (数学 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B*), 物理 (物理基礎, 電気基礎), 英語に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。)
		コンピュータ科学コース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (数学 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B*) に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。)
		材料デザイン工学コース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (数学 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B*), 理科 (化学基礎, 物理基礎) に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。)
		化学・生命科学コース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (本コースに関する口頭試問 (化学, 化学基礎に関する口頭試問) を含む。)
		社会基盤工学コース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (国語, 数学 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B*), 英語に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。)
		社会デザインコース	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 面接 (国語, 数学 (数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B*), 英語に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。)
農学部	食料生産学 生命機能学 生物環境学	推薦A	令和元年11月23日(土)午前 9 時から 総合問題 (120分), 面接 (口頭試問を含む。)
		推薦B	令和元年11月24日(日)午前 9 時から 総合問題 (120分), 面接 (口頭試問を含む。)

合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

事 項 学 部	合 否 判 定 基 準	
	総合点で合否を判定する。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
法 文 学 部	○	同点者は、同順位とする。
理 学 部		
工 学 部		
農 学 部		

合格者発表等

(1) 合格者発表の日時

令和元年12月 6 日(金) 午前10時

(2) 合格者発表の方法

- 1) 合格者については、当該学部掲示場に受験番号で発表します。
なお、出身学校長へ選考結果の通知書等を送付します。
- 2) 合格通知書、入学手続関係書類及び入学案内を合格者に送付します。
- 3) 愛媛大学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)
ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記1)又は2)の合格者発表により確認してください。

(注) 電話等による合否結果の照会には一切応じません。

試験当日等に大学周辺で行われている合否電報等の受付については、本学と一切関係ありません。

入 学 手 続

合格者は、下記の期間内に郵送により入学手続を行ってください。詳細については、合格通知の際にお知らせします。

なお、入学手続は67ページの「10 入学手続及び初年度の諸経費」を参照してください。

入学手続期間

令和元年12月16日(月)～12月18日(水) 必着

なお、やむを得ず持参する場合は、各学部入試係(74ページ参照)に電話連絡の上、12月18日(水)午後5時まで持参してください。

【教科・科目の表記について】

1 大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように表記しています。

○国語

『国語』→「国語」

○地理歴史

「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」, 「日本史A」→「日A」, 「日本史B」→「日B」,
「地理A」→「地理A」, 「地理B」→「地理B」

○公民

「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」, 『倫理, 政治・経済』→「倫・政経」

○数学

「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 『数学Ⅰ・数学A』→「数Ⅰ・数A」, 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」,
『数学Ⅱ・数学B』→「数Ⅱ・数B」, 「簿記・会計」→「簿」, 「情報関係基礎」→「情報」

○理科

「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「地学基礎」→「地学基」,
「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地学」

○外国語

『英語』→「英」, 『ドイツ語』→「独」, 『フランス語』→「仏」, 『中国語』→「中」, 『韓国語』→「韓」

(注) 『 』で記載しているものは、2つの科目を統合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

数Ⅰ, 数Ⅰ・数A→数学①

数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報→数学②

物基, 化基, 生基, 地学基→理科①

物, 化, 生, 地学→理科②

3 大学入試センター試験の理科の選択方法については、次のように表記しています。

物基, 化基, 生基, 地学基から2科目を選択→A

物, 化, 生, 地学から1科目を選択→B

物基, 化基, 生基, 地学基から2科目及び物, 化, 生, 地学から1科目を選択→C

物, 化, 生, 地学から2科目を選択→D

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校を令和2年3月卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの

ただし、推薦できる者は、1学校につき2人以内とする。

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については、57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

教育学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

グループディスカッションの結果並びに提出された出願書類(推薦書、調査書、調書及び活動報告書)の内容により、合否判定基準に基づき選考し、募集人員の2倍程度を合格させます。

選抜の結果は、令和元年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

また、合格者については、教育学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページ(<https://www.ehime-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和2年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和2 センター試験成績請求票 推薦 国公立推薦入試用」を教育学部入試係へ提出してください。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

2) 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入試センター試験の成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入試センター 試験の利用方法
国語	国語	1	前頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
数学	数Ⅰ・数A	} から1	
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報		
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	
〔3教科3科目〕			
◆「数学」において, 2科目を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。			

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の科目の採用方法を示します。
 注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く。)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		
教科等	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	グループ ディスカッ ション	推 薦 書 調 査 書 活動報告書	計
				①	②	①	②					
配 点	100	－	－	(100)	(100)	－	－	100	300	200	100	300

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記80点, リスニング20点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記100点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	内容及び採点・評価基準 (一般的基準)
グループ ディスカッション	学校教育・社会や生活に関する諸課題を提示し, その課題についての議論や議論中の態度から, 本学部で学ぶことへの興味・関心, 教員として社会に貢献する意欲, 思考力・判断力・表現力, 主体性などを総合的に評価する。特に, 他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力や, 他者の意見を傾聴しそれを踏まえて議論を発展させられるコミュニケーション能力を評価する。
推 薦 書 調 査 書 調 査 書 活 動 報 告 書	知識・理解, 技能, 思考・判断・表現, 興味・関心・意欲, 態度について総合的に評価する。具体的には, 活動報告書は志願者が経験した多様な取り組み, 課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書, 調査書, 調書は高等学校における人物, 特記すべき活動などを総合的に評価する。

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの

ただし、推薦できる者は、1学校につき各コース3人以内とする。

- (1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和元年11月24日(日)

詳細については、57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

理学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書及び調査書の内容により、合否判定基準に基づき選考し、募集人員の1.5倍程度を合格させます。

選抜の結果は、令和元年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

また、合格者については、理学部掲示場を受験番号で発表します。（午前10時）

更に、愛媛大学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。（午前10時30分頃）

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和2年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和2センター試験成績請求票」推薦国公立推薦入試用を理学部入試係へ提出してください。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

2) 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入試センター試験の成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法				大学入試センター 試験の利用方法
国語	国語	1		前頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
数学	数Ⅰ・数A	1		
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1		
理科	物, 化, 生, 地学	から2	D	
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1		
〔4教科6科目〕				

注1 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

数学・数理情報コース

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		
教科等	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書	計
				①	②	①	②					
配 点	100	－	－	100	100	－	100	100	500	400	100	500

注 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は下記のとおりとする。

筆記80点、リスニング20点とする。

リスニングを免除された者は、筆記100点とする。

物理学コース

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験								個別学力検査等			
教科等	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書	計
				①	②	①	②					
配 点	100	－	－	75	75	－	150	100	500	400	100	500

注 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は下記のとおりとする。

筆記80点、リスニング20点とする。

リスニングを免除された者は、筆記100点とする。

化学コース

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		
教科等	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書	計
				①	②	①	②					
配 点	100	－	－	50	50	－	200	100	500	400	100	500

注 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は下記のとおりとする。

筆記80点、リスニング20点とする。

リスニングを免除された者は、筆記100点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
理学科 数学・数理情報コース 物理学コース 化学コース	面接	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、理解力、表現力などについて総合的に評価する。
	推薦書調査書	学業成績、人物、特別活動、進路・動機などについて総合的に評価する。

(1) 出願要件及び推薦要件等

以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、医学の研究者あるいは臨床医としての優れた資質を有し、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの。ただし、推薦できる者は、1学校につき5人以内とする。

- 1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

令和元年11月23日(土)～11月24日(日)

詳細については、57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

総合問題、面接の結果並びに提出された推薦書及び調査書により、合否判定基準に基づき選考し、30人程度を合格させます。

選抜の結果は、令和元年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

また、合格者については、医学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページ(<https://www.ehime-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和2年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和2 センター試験成績請求票 推薦 国公立推薦入試用」を医学部入試係へ提出してください。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

2) 第2次選抜

大学入試センター試験の成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法				大学入試センター 試験の利用方法
国語	国語	1		前頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
地理歴史	世B, 日B, 地理B	} から1		
公民	倫・政経			
数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1		
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B	から1		
理科	物, 化, 生, 地学	から2	D	
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1		
〔5教科7科目〕				
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 なお, 「地理歴史, 公民」の第1解答科目が指定された科目でない場合は, 合格者選考の対象とはならない。				

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く。)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験								個別学力検査等			
教科等	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	総合問題	面 接	計
				①	②	①	②					
配 点	200	(100)	(100)	100	100	－	200	200	900	200	200	400

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記180点, リスニング20点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は 出題意図の開示時期
総合問題	和文や英文の内容を的確に把握した上で論述, 解答させることにより, 読解力, 論述力を評価する。また, 数学や理科の基礎的な知識を基にその内容およびそれに関連した事項についての知識, 計算力, 記述力を評価する。	令和2年2月7日(金) 午後4時
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して, 医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲, 自己認識, 協調性, 社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
推薦書 調査書	面接の際に参考とする。	

(1) 出願要件等

- ・愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること
- ・幅広い総合的な診療能力を身につけることを通して、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること
- ・合格した場合は入学を確約できること
- ・入学後に愛媛県の奨学金を受給し、卒業後に愛媛県知事が指定する医療機関において9年間以上勤務する義務に同意すること

以上の全てについて学校長が責任をもって推薦できる者で、以下のいずれかに該当するもの

- (1) 愛媛県内の高等学校を平成31年3月以降に卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月以降に修了した者又は令和2年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

令和元年11月23日(土)～11月24日(日)

詳細については、57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

総合問題、面接、奨学金受給の確認の結果並びに提出された推薦書、自己推薦書及び調査書により、合否判定基準に基づき選考し、募集人員の1.5～2倍程度を合格させます。

選抜の結果は、令和元年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

また、合格者については、医学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/>) にも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和2年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和2センター試験成績請求票 [推薦] 国公立推薦入試用」を医学部入試係へ提出してください。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

2) 第2次選抜

大学入試センター試験の成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(注) 愛媛県の奨学金は学費、生活費相当を貸与するものであり、大学卒業後、研修期間を含め9年間、愛媛県内の指定医療機関で勤務すれば奨学金の返還を免除されるものです。

【奨学金に関する問い合わせ先】

愛媛県庁保健福祉部社会福祉医療局医療対策課医療政策グループ

TEL 089-912-2449(直通)

E-mail iryotaisaku@pref.ehime.lg.jp

URL <http://www.pref.ehime.jp/h20150/doctorbank/>

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法				大学入試センター 試験の利用方法
国語	国語	1		前頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
地理歴史	世B, 日B, 地理B	} から1		
公民	倫・政経			
数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1		
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B	から1		
理科	物, 化, 生, 地学	から2	D	
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1		
〔5教科7科目〕				
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 なお, 「地理歴史, 公民」の第1解答科目が指定された科目でない場合は, 合格者選考の対象とはならない。				

注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く。)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		
教科等	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	総合問題	面 接	計
				①	②	①	②					
配 点	200	(100)	(100)	100	100	－	200	200	900	200	200	400

注1 () は, 選択科目の配点を示す。

注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。

筆記180点, リスニング20点とする。

リスニングを免除された者は, 筆記200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は 出題意図の開示時期
総合問題	和文や英文の内容を的確に把握した上で論述, 解答させることにより, 読解力, 論述力を評価する。また, 数学や理科の基礎的な知識を基にその内容およびそれに関連した事項についての知識, 計算力, 記述力を評価する。	令和2年2月7日(金) 午後4時
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して, 医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲, 自己認識, 協調性, 社会性, 奨学金受給意思などを総合的に判断して採点・評価する。	
推薦書 自己推薦書 調査書	面接の際に参考とする。	

愛媛大学医学部の基本理念等〔医学部医学科（推薦B）地域特別枠推薦入試用〕

愛媛大学医学部医学科では、地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有し、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指す者を対象に「地域特別枠推薦入試」を導入しています。

下記に示す本学部の理念等を踏まえ、貴方の地域医療に対する関心、抱負などを、本学所定の「自己推薦書」（2,000字以内）に要約して入力してください。

記

愛媛大学医学部は、「教育の成果に関する目標」において、「患者から学び、患者に還元する教育・研究・医療」を基本理念として、人権を尊重し、患者の立場に立つ優れた医療人、医学・看護学における教育者、研究者を養成するとともに、医療人の生涯学習の拠点となることを掲げています。

この目標は昭和48年9月に本学部が設立された際、愛媛県における地域医療の充実と高度先端医療の展開を目指して策定され、その後40年以上にわたり一貫して、愛媛県における医療・医学の中核となり、教育面では高度な専門知識と技能を持ち地域医療に貢献する医師の養成を行う際の根幹をなす目標として堅持してきました。

愛媛県全体としては医師数、医療の質ともに大学設立当時に比較して、格段の改善や向上がみられます。しかし、最近では、愛媛県下の山間部、島嶼部だけでなく市部においても、公立の病院や診療所などの医療機関において医師不足が顕在化し、医学部に対して医師派遣の要請が急増しています。

愛媛県内の医療・保健福祉を質・量ともに向上させるためには、卒業後愛媛県内で活躍し、医療・保健福祉業務に従事する強い意志と使命感をもつ優れた医師を養成することが必要です。

このために本学における教育において、これまで以上に地域医療に進んで従事する医師の養成に取り組むだけでなく、さらに、県内高等学校出身者を対象とする推薦入試を実施し、自らが生まれ育ち、愛着を持つ愛媛県の医療に従事する強い意志と情熱を持つ人材を受け入れて教育することにより、上記の目標を達成したいと考えています。

(1) 出願要件及び推薦要件等

以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、看護学・保健学の研究者、教育者あるいは臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの

- 1) 高等学校を令和2年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和元年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和元年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

令和元年11月23日(土)～11月24日(日)

詳細については、57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

小論文、面接・グループディスカッションの結果並びに提出された推薦書及び調査書により、合否判定基準に基づき選考し、募集人員の1.5～2倍程度を合格させます。

小論文は和文・英文で出題します。

選抜の結果は、令和元年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

また、合格者については、医学部掲示場に受験番号で発表します。(午前10時)

更に、愛媛大学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/>) にも合格者受験番号を掲載します。(午前10時30分頃)

ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記の合格者発表により確認してください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和2年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和2 センター試験成績請求票 推薦 国公立推薦入試用」を医学部入試係へ提出してください。

なお、持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

2) 第2次選抜

大学入試センター試験の成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名の採用方法						大学入試センター試験の利用方法
国語	国語	1				前頁(5)選抜方法等の2)第2次選抜を参照
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	A	A又はB	} から1(*1)	
	物, 化, 生, 地学	から1	B			
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				
〔3教科3科目〕						
◆「理科」において基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は、高得点の科目を採用する。(※2) 「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。						

- 注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注3 *2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は、2科目の合計の得点とします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験								個別学力検査等			
教科等	国 語	地 理 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	小論文	面 接 グループ ディスカッション	計
				①	②	①	②					
配 点	100	－	－	－	－	(100)	(100)	200	400	200	100	300

- 注1 () は、選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は下記のとおりとする。
 筆記180点、リスニング20点とする。
 リスニングを免除された者は、筆記200点とする。
 注3 面接・グループディスカッションの配点は合計点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示時期
小論文	和文は文章の理解力と、文章の内容をもとにして自分の考えをまとめ表現する能力などを総合的に採点・評価する。 英文は英語の読解力、考察力、自分の考えを論述する能力などを総合的に採点・評価する。	令和2年2月7日(金) 午後4時
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、看護学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
グループディスカッション	議論や議論中の態度から、個人面接の評価項目に加え、対人関係能力、状況判断能力などを総合的に判断して採点・評価する。	
推薦書調査書	面接の際に参考とする。	

医学部看護学科では、保健師教育課程に「選択制」を導入しています。

保健師資格の取得を希望する学生のうち、3年次前学期終了後に選考を受けて（編入生を含む35人程度）、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和2年2月1日(土)

詳細については、57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績、面接の結果並びに提出された推薦書、調査書及び活動報告書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法					大学入試センター 試験の利用方法				
国語	国語	1		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)					
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B	}					から1		
	地理A, 地理B								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経								
数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1							
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B	から1							
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	C				C又はD	}	から2(*1)
	物, 化, 生, 地学	から1							
	物, 化, 生, 地学	から2	D						
	※ただし, 理科は「物理」又は「物理基礎」を含めること								
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1							
〔5教科7科目〕									
◆「地理歴史, 公民」において2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。									

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く。)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験								個別学力検査等			
教科等	国 語	地 理 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
				①	②	①	②					
配 点	100	(50)	(50)	125	125	(125)	(125)又は (250)	150	800	100	100	200

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記120点, リスニング30点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記150点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識・学力, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書 調査書 活動報告書	「知識・理解」, 「思考・判断, 技能・表現」, 「興味・関心・意欲, 態度」, 「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には, 活動報告書は志願者が主体的, 意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などを総合的に評価する。なお, 推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」，「物理若しくは理数物理」，「化学若しくは理数化学」の全てを修得又は修得見込みの者）を令和2年3月に卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので，出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお，出願書類は，出願書類の提出期間内に配達されたもの，及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち，12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和2年2月1日(土)

詳細については，57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された推薦書，調査書及び活動報告書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

なお，面接の口頭試問は，数学（数学Ⅲの内容を中心としますが，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B*の内容を含むことがあります。）及び英語に関するものを含みます。

*数学Bの範囲は「数列」と「ベクトル」とします。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法				大学入試センター 試験の利用方法
数学	数Ⅰ，数Ⅰ・数A	から1		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)
	数Ⅱ，数Ⅱ・数B	から1		
理科	物	1	B	
〔2教科3科目〕				
◆「理科」の第1解答科目が「物理」でない場合は，合格者選考の対象とならない。				

注1 ◆は，学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の，科目の採用方法を示します。

注2 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験								個別学力検査等			
教科等	国 語	地 理 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書	計
				①	②	①	②				調査書	
配 点	－	－	－	150	150	－	300	－	600	300	100	400

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	目的意識，勉学意欲，基礎的知識・学力，自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書 調査書 活動報告書	「知識・理解」，「思考・判断，技能・表現」，「興味・関心・意欲，態度」，「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には，活動報告書は志願者が主体的，意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績，人物，特別活動，進路・動機などを総合的に評価する。なお，推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和2年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については、4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和2年2月1日(土)

詳細については、57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については、69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績、面接の結果並びに提出された推薦書、調査書及び活動報告書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名の 教科・科目の採用方法						大学入試センター 試験の利用方法	
国語	国語	1				総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)	
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B	} から1					
	地理A, 地理B						
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						
数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1					
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B	から1					
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	C	C又はD	} から2(*1)		
	物, 化, 生, 地学	から1					
	物, 化, 生, 地学	から2	D				
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1					
〔5教科7科目〕							
◆「地理歴史, 公民」において2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。							

注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用法を示します。

注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。

注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く。)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		
教科等	国 語	地 理 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
				①	②	①	②					
配 点	100	(50)	(50)	125	125	(125)	(125)又は (250)	150	800	100	100	200

注1 () は, 選択科目の配点を示す。

注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
筆記120点, リスニング30点とする。

リスニングを免除された者は, 筆記150点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書 調査書 活動報告書	「知識・理解」, 「思考・判断, 技能・表現」, 「興味・関心・意欲, 態度」, 「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には, 活動報告書は志願者が主体的, 意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などを総合的に評価する。なお, 推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，工業に関する学科，理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので，出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお，出願書類は，出願書類の提出期間内に配達されたもの，及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち，12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和2年2月1日(土)

詳細については，57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書，調査書及び活動報告書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法					大学入試センター 試験の利用方法		
国語	国語	1			総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)		
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1					
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						
数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1					
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B	から1					
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	C	C又はD			} から2(*1)
	物, 化	から1					
	物, 化	2	D				
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1					
〔5教科7科目〕							
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。							

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く。)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験								個別学力検査等			
教科等	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
				①	②	①	②					
配 点	100	(50)	(50)	100	100	(100)	(100)又は (200)	250	800	100	100	200

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記200点, リスニング50点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記250点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準 (一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識・学力, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書 調査書 活動報告書	「知識・理解」, 「思考・判断, 技能・表現」, 「興味・関心・意欲, 態度」, 「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には, 活動報告書は志願者が主体的, 意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などを総合的に評価する。なお, 推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，工業に関する学科，理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者
で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

- 1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので，出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお，出願書類は，出願書類の提出期間内に配達されたもの，及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち，12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

- 2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和2年2月1日(土)

詳細については，57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書，調査書及び活動報告書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名の教科・科目の採用方法						大学入試センター試験の利用方法		
国語	国語		1			総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等を参照)		
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B		} から1					
	地理A, 地理B							
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経							
数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A		から1					
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B		から1					
理科	物基, 化基, 生基, 地学基		から2	C	C又はD			} から2(*1)
	物, 化, 生, 地学		から1					
	物, 化, 生, 地学		から2					
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓		から1					
〔5教科7科目〕								
◆「地理歴史, 公民」において2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。								

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く。)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		
教科等	国 語	地 理 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
				①	②	①	②					
配 点	150	(50)	(50)	100	100	(100)	(100)又は (200)	200	800	100	100	200

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記160点, リスニング40点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書 調査書 活動報告書	「知識・理解」, 「思考・判断, 技能・表現」, 「興味・関心・意欲, 態度」, 「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には, 活動報告書は志願者が主体的, 意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などを総合的に評価する。なお, 推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，工業に関する学科，理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので，出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお，出願書類は，出願書類の提出期間内に配達されたもの，及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち，12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和2年2月1日(土)

詳細については，57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書，調査書及び活動報告書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法						大学入試センター 試験の利用方法		
国語	国語	1				総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)		
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B	} から1						
	地理A, 地理B							
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経							
数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1						
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B	から1						
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	C	C又はD	} から2(*1)			
	物, 化, 生, 地学	から1						
	物, 化, 生, 地学	から2	D					
	※ただし, 理科は「物理」又は「物理基礎」を含めること							
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1						
〔5教科7科目〕								
◆「地理歴史, 公民」において2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において, 同一名称を含む科目の選択は認めない。								

- 注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。
 注2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」をいいます。
 注3 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。
 注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		
教科等	国 語	地 理 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
				①	②	①	②					
配 点	150	(50)	(50)	100	100	(100)	(100)又は (200)	200	800	100	100	200

- 注1 () は, 選択科目の配点を示す。
 注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。
 筆記160点, リスニング40点とする。
 リスニングを免除された者は, 筆記200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準 (一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書 調査書 活動報告書	「知識・理解」, 「思考・判断, 技能・表現」, 「興味・関心・意欲, 態度」, 「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には, 活動報告書は志願者が主体的, 意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などを総合的に評価する。なお, 推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科，工業に関する学科，理数に関する学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者で，次の全ての条件に該当し，学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和元年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和元年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和元年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので，出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお，出願書類は，出願書類の提出期間内に配達されたもの，及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち，12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

2) 出願手続

詳細については，4ページの「4 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和2年2月1日(土)

詳細については，57ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

試験場の位置については，69ページの「11 試験場・試験場案内・交通機関案内」で確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入試センター試験の成績，面接の結果並びに提出された推薦書，調査書及び活動報告書の内容により，合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入試センター試験の利用教科・科目等について

大学入試センター試験の利用教科・科目名の 教科・科目の採用方法						大学入試センター 試験の利用方法		
国語	国語	1				総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)		
地理歴史	世A, 世B, 日A, 日B	} から1						
	地理A, 地理B							
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経							
数学	数I, 数I・数A	から1						
	数II, 数II・数B	から1						
理科	物基, 化基, 生基, 地学基	から2	A	A又はB	} から1(*1)			
	物, 化, 生, 地学	から1	B					
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1						
〔5教科6科目〕								
◆「地理歴史, 公民」において2科目受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 「理科」において基礎を付した科目と基礎を付していない科目を受験している場合は, 高得点の科目を採用する。(*2) 「理科」において基礎を付していない科目を2科目受験している場合は, 第1解答科 目を採用する。								

注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。

注2 *1 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

注3 *2 「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は, 2科目の合計の得点とします。

注4 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く。)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注5 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格選考の対象となりません。

(7) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

試 験	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験									個別学力検査等		
教科等	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学		理 科		外国語	計	面 接	推薦書 調査書 活動報告書	計
				①	②	①	②					
配 点	200	(100)	(100)	75	75	(100)	(100)	250	800	100	100	200

注1 () は, 選択科目の配点を示す。

注2 大学入試センター試験の「英語」は, リスニングを含み, 配点は下記のとおりとする。

筆記200点, リスニング50点とする。

リスニングを免除された者は, 筆記250点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識, 勉学意欲, 基礎的知識, 自己表現力などについて総合的に評価する。
推薦書 調査書 活動報告書	「知識・理解」, 「思考・判断, 技能・表現」, 「興味・関心・意欲, 態度」, 「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には, 活動報告書は志願者が主体的, 意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。推薦書・調査書は高等学校における学業成績, 人物, 特別活動, 進路・動機などを総合的に評価する。なお, 推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

試験期日及び試験時間

学 部	学 科 等	試 験 期 日 等
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース 小学校サブコース	令和元年11月24日(日)午前9時からグループディスカッション
理学部	理学科 数学・数理情報コース 物理学コース 化学コース	令和元年11月24日(日)午前9時から面接
医学部	医 学 科	推薦A 令和元年11月23日(土)午前9時～11月24日(日) 推薦B 総合問題(120分)、面接
	看護学科	令和元年11月23日(土)午前9時～11月24日(日) 小論文(120分)、面接・グループディスカッション
工学部	工学科 機械工学コース 知能システム学コース 電気電子工学コース コンピュータ科学コース 応用情報工学コース 材料デザイン工学コース 化学・生命科学コース 社会基盤工学コース 社会デザインコース	令和2年2月1日(土)午前9時から面接

注1 志願者数により時間等を変更することがありますが、その場合は、受験票を送付する際にお知らせします。(受験票等の発送については、13ページ参照)

注2 工学部の受験の際には、大学入試センター試験の受験票を必ず持参してください。

注3 医学部医学科の面接及び看護学科の面接・グループディスカッションの日時の詳細については、受験票を送付する際にお知らせします。

合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

事 項	合 否 判 定 基 準		
	総合点で 合否を判 定する。	原則として総合 点で合否を 判定するが、 ある科目の成 績が水準以下 の場合は、総 合点の如何に かかわらず不 合格となるこ とがある。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
学部等			
教育学部 第1次選抜 第2次選抜		※1○	(第1次選抜) 同点者は、同順位とする。 (第2次選抜) ① 同点者は、グループディスカッションの得点により順位を付ける。 ② グループディスカッションの得点が同点の場合は、出願書類(推薦書、調査書、調書、活動報告書)の得点により順位を付ける。
理学部 第1次選抜 第2次選抜	○ ○		1次選抜については、面接と提出書類の合計点で判定する。 2次選抜は1次選抜および大学入試センター試験の合計点で判定する。同点者は同順位とする。
医学部 医学科 第1次選抜 第2次選抜		※2○	(第2次選抜) ① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合は、総合問題の得点により順位を付ける。 ③ 総合問題の得点が同点の場合は、調査書の「全体の評定平均値」が高い順とする。
看護学科 第1次選抜 第2次選抜		※3○	(第1次選抜) 同点者は、同順位とする。 (第2次選抜) ① 同点者は、面接・グループディスカッションの得点により順位を付ける。 ② 面接・グループディスカッションの得点が同点の場合は、調査書の「全体の評定平均値」が高い順とする。
工学部	○		同点者は、同順位とする。

※1 グループディスカッションの評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を検討することがある。

※2 第1次選抜については、総合問題、面接及び提出書類を総合的に判断して合否を判定する。

※3 面接・グループディスカッションの評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を検討することがある。

合格者発表等

(1) 合格者発表の日時

令和2年2月7日(金) 午後4時

(2) 合格者発表の方法

- 1) 合格者については、当該学部掲示場に受験番号で発表します。
なお、出身学校長へ選考結果の通知書等を送付します。
- 2) 合格通知書、入学手続関係書類及び入学案内を合格者に送付します。(医学部は受験者全員に合否結果を送付します。)
- 3) 愛媛大学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲載します。(午後4時30分頃)
ただし、ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、必ず上記1)又は2)の合格者発表により確認してください。

(注) 電話等による合否結果の照会には一切応じません。

試験当日等に大学周辺で行われている合否電報等の受付については、本学と一切関係ありません。

入 学 手 続

合格者は、下記の期間内に郵送により入学手続を行ってください。詳細については、合格通知の際にお知らせします。

なお、入学手続は67ページの「10 入学手続及び初年度の諸経費」を参照してください。

入学手続期間

令和2年2月12日(水)～2月14日(金) 必着

なお、やむを得ず持参する場合は、2月12日(水)午後5時までに各学部入試係(74ページ参照)に電話連絡の上、2月12日(水)から2月14日(金)午後5時までに持参してください。

7 留 意 事 項

- (1) 本学の推薦入試合格者は、他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。詳細は公立大学協会ホームページ <http://www.kodaikyo.org/nyushi>を参照)の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
ただし、特別の事情により、令和2年2月19日(水)までに、推薦した出身学校長から、「推薦入学辞退願」が提出され、本学の入学辞退許可を得た場合は、この限りではありません。
また、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、推薦入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (2) 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものとして取り扱います。
この場合、出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
- (3) 入学手続完了後でも、高等学校を卒業しない等の事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。
- (4) 合格の後、入学を辞退した場合は、翌年度以降の推薦入試において、当該学校からの推薦入試の出願を受理しないことがあります。
- (5) 教育学部による選抜では、教育学部で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査します。このため、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (6) 医学部医学科〔推薦B〕による選抜では、地域医療の担い手となるために必要・不可欠な資質を評価します。このため、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (7) 理学部理学科による選抜では、理学部で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査します。このため、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (8) 工学部工学科による選抜では、工学部で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査します。このため、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (9) 個別学力検査等の出願
(本学推薦入試が不合格となった場合に備えての出願)
ア 大学入試センター試験を課す課さないにかかわらず、推薦入試の出願は1つの大学・学部等に限られますが(詳細は、3ページを参照)、本学推薦入試に不合格となった場合に備えて、「前期日程」グループの大学・学部等から1つ、「後期日程」グループの大学・学部等から1つ、「公立大学中期日程」グループの大学・学部等から1つの合計3つの大学・学部等に出願することができます。この場合は、大学入試センター試験について、出願する大学の指定する教科・科目を受験しておく必要があります。
イ 本学の個別学力検査等に出願する場合は、本学が別途作成している「令和2年度一般入試学生募集要項」(令和元年11月上旬本学ホームページにて発表予定)により、所定の出願受付期間内に出願書類の提出をしてください。(一般入試は、インターネット出願となっております。)

本学では、障がい等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志願学部の入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合、又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に志願学部の入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いいたします。

- ・ 受験上の合理的配慮希望申請書 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>)
- ・ 障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者）の写し又は医師の診断書（写しでも可）等、障がい等の現況が確認できる資料
- ・ 大学入試センターから送付された「受験上の配慮決定事項通知書」の写し（推薦入試Ⅱ志願者のみ）

(注) 日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても、受験上の合理的配慮の申請が必要になります。なお、座布団、膝掛け、タオル（サイズは問わない）、ティッシュペーパー、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、受験上の合理的配慮を決定し、決定された合理的配慮の内容は、申請者に郵送で通知します。

なお、決定の際に不明な点がある場合には、別途確認の連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

志願学部の入試係（74ページの学部等照会先参照）

法文学部人文社会学科「昼間主コース」,「夜間主コース」推薦入試

生徒氏名欄の右の「コース」には昼間主・夜間主の別を記入してください。「サブコース」の記入は不要です。

推薦理由等の欄は、以下の1～3の順に項目を分けて記入してください。

1. 学 業

- (1) 本人が大学において高等専門教育を受けるにふさわしい者として推薦される「学業上の根拠」について記入してください。
- (2) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実を挙げて記入してください。

2. 人 物

人物について、具体的に記入してください。

3. 課外活動・資格・その他

校内及び校外における活動について、その活動状況を学年別に記入してください。また、調査書に記載された活動・資格に関しては、以下の(例)を参考に、具体的状況を記載してください。(例のとおりに記載する必要はありません。)

(例1) 語学留学：時期、期間、利用した留学制度、学習内容など

(例2) 部活動成績：大会の規模、大会の位置づけなど

(例3) 資格、ボランティア活動：時期、期間、母体組織、活動内容など

調査書の「指導上参考となる諸事項」の「(5)その他」の欄には、例えば高大連携活動等による成果を記入してもかまいません。また、その関連書類等を添付してもかまいません。関連書類等を添付する場合には、必ずA4用紙片面2枚以内にまとめたものを調査書又は推薦書の封筒に同封してください。なお、「指導上参考となる諸事項」の(1)から(5)について、推薦書に具体的に記載される場合は、「推薦書を参照」などと記載したので差し支えありません。

教育学部推薦入試

推薦書の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的に事実に基づいて記述してください。
推薦理由等の欄は、以下の1～4の順に項目を分けて記入してください。

1. 学業について

- (1) 本人が大学において高等専門教育を受けるにふさわしい者として推薦される「学業上の根拠」について記入してください。
- (2) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実を挙げて記入してください。

2. 人物について

本人の特性及び生活態度等について記入してください。

3. 特別活動等について

特別活動（クラブ活動、生徒会活動）及び課外活動（部活動）等について、本人の果たした役割や活動の状況等を具体的に記入してください。

4. その他の特記事項

- (1) 本人の社会的活動、生活態度、趣味、特技等について記入してください。
- (2) その他、本人について特記すべき事項があれば、すべて記入してください。

理 学 部 推 薦 入 試

1. 志望する学科・コース

本人が志望する学科・コースを記入してください。

なお、学科・コースは次のとおりです。

理学科 数学・数理情報コース

物理学コース

化学コース

生物学コース

地学コース

2. 推薦理由等の欄には、上記学科・コースへ推薦する理由を以下の1)～3)の順に項目を分けて具体的に記入してください。

(注) ① 各コースの内容については、「愛媛大学理学部案内」を参照してください。

② コースへの分属は、受験時に志望したコースとなります。

したがって、志望するコースの内容を理解いただき、本人の希望を十分に聴取の上、記入してください。

1) 学業について

(1) 本人が大学において高等専門教育を受けるに足るとして推薦される「学業上の根拠」について記入してください。

(2) 授業中の活動状況、勉学の自主性、計画性、持続性、理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実を挙げて記入してください。

2) 特別活動等について

調査書の「特別活動の記録」欄においても記述がありますが、なお一層具体的に記入してください。

例えば、特別活動（クラブ活動、生徒会活動）及び課外活動（スポーツ、文化活動やボランティア活動等の諸活動）等について、本人の果たした役割や活動の状況等を具体的に記入してください。

3) 人物及びその他の特記事項について

(1) 人物について、具体的に記入してください。

(2) 本人の社会的活動、生活態度、特技、取得資格等について記入してください。

(3) その他、本人について特記すべき事項があれば、記入してください。

医 学 部 推 薦 入 試

1. 志望する学科

本人が志望する学科を記入してください。

なお、学科は次のとおりです。

医 学 科

看護学科

2. 推薦理由について

(1) 上記学科へ推薦する理由について、具体的に記入してください。

(注) 各学科の内容については、「愛媛大学ガイドブック」及び「医学部看護学科案内」を参照してください。

(2) その他、特記することがあれば記入してください。(特別活動、資格取得など)

工 学 部 推 薦 入 試

1. 志望する学科・コース

本人が志望する学科・コースを記入してください。

なお、学科・コースは次のとおりです。

工学科 機械工学コース
知能システム学コース
電気電子工学コース
コンピュータ科学コース
応用情報工学コース
材料デザイン工学コース
化学・生命科学コース
社会基盤工学コース
社会デザインコース

2. 推薦理由について

(1) 上記学科・コースへ推薦する理由について、具体的に記入してください。

(注) 各コースの内容については、「愛媛大学工学部案内」を参照してください。

(2) その他、特記することがあれば記入してください。(特別活動、資格取得など)

農 学 部 推 薦 入 試

1. 志望する学科名，コース名

推薦Aにおいては，本人が志望する学科名のみを記入してください。

推薦Bにおいては，本人が志望する学科名及びコース名を記入してください。

なお，学科及びコースは次のとおりです。

- 食料生産学科
 - 農業生産学コース
 - 植物工場システム学コース
 - 食料生産経営学コース
- 生命機能学科
 - 応用生命化学コース
- 生物環境学科
 - 森林資源学コース
 - 地域環境工学コース
 - 環境保全学コース

2. 推薦理由等の欄は，以下の1)～4)の順に項目を分けて記入してください。

1) 上記学科又はコースへ推薦する理由について

上記学科又はコースへ推薦する理由について，具体的に記入してください。

(注) ① 各学科又はコースの教育内容等については，「愛媛大学農学部案内」を参照してください。

② 推薦Aにおいて，コースへの所属は，本人の志望と入学後に修得した成績を基に，2年次前学期開始時に決定します。

③ 推薦Bにおいては，入学時から，受験時に志望したコースへ所属します。
したがって，志望するコースの内容を理解いただき，本人の希望を十分に聴取の上，記入してください。(入学後のコースの変更はできません。)

2) 学業について

(1) 本人が大学において高等専門教育を受けるに足るとして推薦される「学業上の根拠」について記入してください。

(2) 授業中の活動状況，勉学の自発性，計画性，持続性，理解力，創造的思考能力等につき，なるべく具体的事実を挙げて記入してください。

3) 特別活動等について

調査書の「特別活動の記録」欄においても記述がありますが，なお一層具体的に記入してください。

例えば，特別活動（クラブ活動，生徒会活動）及び課外活動（スポーツ，文化活動やボランティア活動等の諸活動）等について，本人の果たした役割や活動の状況等を具体的に記入してください。

4) 人物及びその他の特記事項について

(1) 人物について，具体的に記入してください。

(2) 本人の社会的活動，生活態度，特技，取得資格等について記入してください。

(3) その他，本人について特記すべき事項があれば，すべて記入してください。

1. 入学手続

入学手続は、定められた期間内に郵送（速達・簡易書留郵便）により手続を行ってください。

なお、合格者には、合格通知の際に入学手続の案内を送付します。

(1) 必要書類等

書 類 等	摘 要	備 考
宣 誓 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの	合格通知書とともに送付します。
保 証 書	同上	
学 生 記 録	同上	
学 生 証 写 真 票	同上	
令和2年度大学入試センター試験受験票	大学入試センター発行のもの（大学入試センター試験に出席していない者は不要）	入学手続完了後に返還します。
令和2年度愛媛大学受験票	本学発行のもの	
入 学 資 格 証 明 書	卒業証明書又はこれに代わる証明書	在学中の者は、卒業後に提出してください。
住 民 票 の 写 し	市区町村長が発行したもの （日本国籍を有しない者のみ提出してください。）	
写 真 （白黒又はカラー）	縦4cm×横3cmのもの2枚（上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したもの） 1枚は、学生記録の写真欄に貼ってください。 1枚は、学生証写真票に貼ってください。	
誓 約 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの （医学部医学科（地域特別枠推薦）〔推薦B〕の合格者のみ提出してください。）	合格通知書とともに送付します。

(2) 注意事項

- ① 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。
- ② 「大学入試センター試験受験票」を紛失した場合は、大学入試センターに再発行の申請をし、再発行された受験票を提出してください。再発行を受けた場合、当初発行のものは無効となります。
申請方法は、「大学入試センター試験受験案内」を参照してください。

2. 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

学 部	入 学 料	授 業 料	その他の経費	合 計 金 額
法 文 学 部 「昼間主コース」	282,000円	年 額 535,800円 〔前期分 267,900円〕	71,660円	889,460円
教 育 学 部			64,660円	882,460円
理 学 部			64,660円	882,460円
医 学 部			155,800円 (86,370円)	973,600円 (904,170円)
工 学 部			64,660円	882,460円
農 学 部			70,660円	888,460円
法 文 学 部 「夜間主コース」	141,000円	年 額 267,900円 〔前期分 133,950円〕	62,760円	471,660円

注1 入学料及び授業料の額は、平成31年度納付額であり、令和2年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費は、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費及び校友会費等の合計金額（金額については変更される場合があります。）です。

注3 医学部（ ）内は、看護学科の金額を示します。

3. 納付金の納入

(1) 入 学 料 282,000円（法文学部「夜間主コース」は、141,000円）

納入期間 受験した推薦入試の入学手続期間

(2) 授 業 料 前期分267,900円〔年額535,800円〕

（法文学部「夜間主コース」は、前期分133,950円〔年額267,900円〕）

注1 納入期間等については、合格通知の際にお知らせします。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

注3 法文学部では、長期履修学生制度（職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度）を導入しています。授業料納入の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

4. 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

11 試験場・試験場案内・交通機関案内

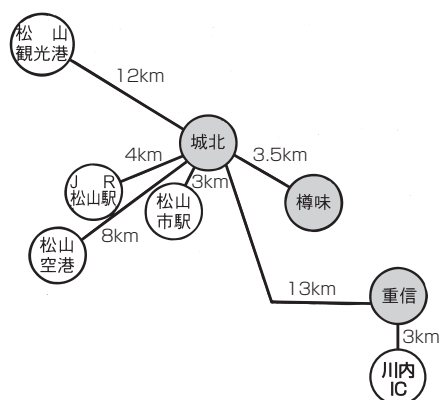
試験場

学 部	図標示	試 験 場	所 在 地
法 文 学 部	①	城北キャンパス	松山市文京町 3 番
教 育 学 部			
理 学 部			松山市文京町 2 番 5 号
医 学 部	②	重信キャンパス	東温市志津川454
工 学 部	①	城北キャンパス	松山市文京町 3 番
農 学 部	③	樽味キャンパス	松山市樽味3丁目5番7号

試験場案内

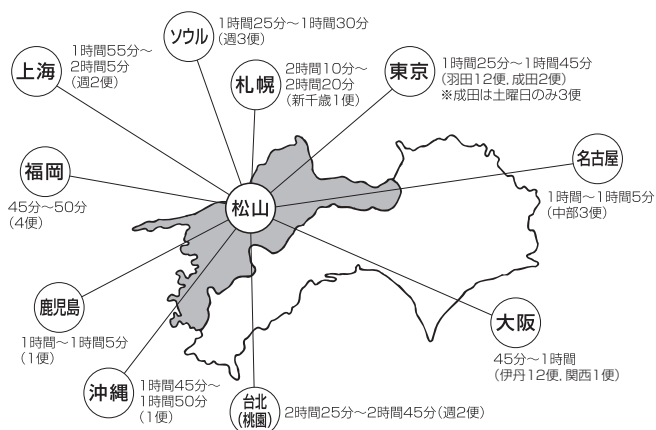


Access



Air Line

(令和元年7月現在)



① 法文学部，教育学部，理学部，工学部

城北キャンパス



注 試験場は予定であり，変更になる可能性があります。試験場については，受験票送付の際又は送付後に通知します。

〔アクセス〕

● JR松山駅から

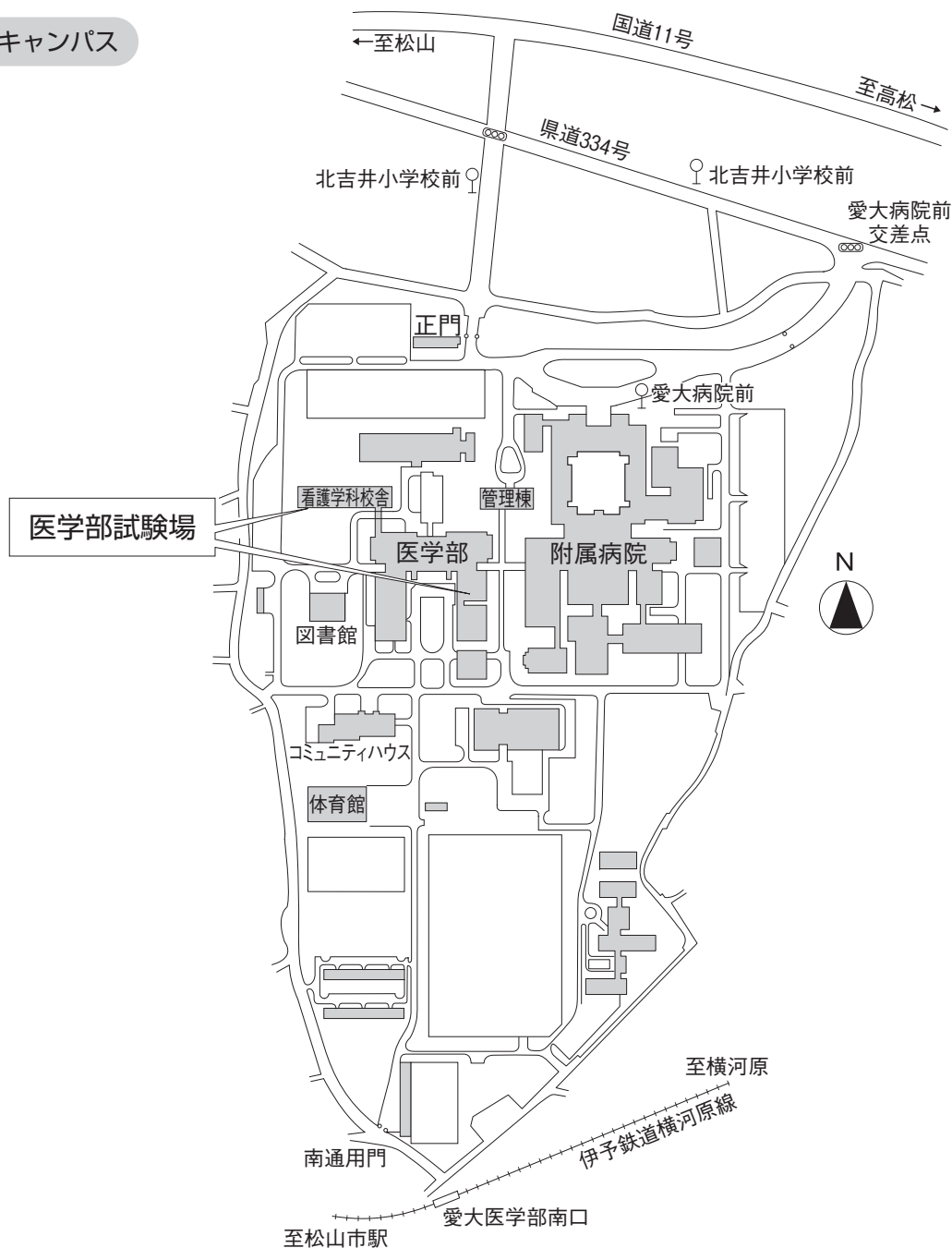
伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅回り 乗車約28分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

② 医 学 部

重信キャンパス



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車 大手町（JR松山駅から東へ徒歩5分）から横河原行き 乗車約34分
愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分

● 松山市駅から

伊予鉄道郊外電車 松山市駅から横河原行き 乗車約28分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分
伊予鉄郊外バス 松山市駅から川内方面行き 乗車約40分 北吉井小学校前又は愛大病院前下車 徒歩10分

● 松山観光港から

伊予鉄バス 高浜駅前行き 乗車約2分 高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車 高浜から横河原行き 乗車約50分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分

3 農学部

樽味キャンパス



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄バス 8番線（東野経由）JR松山駅前から道後温泉駅前行き 乗車約24分 愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス 8番線（東野経由）松山市駅から道後温泉駅前行き 乗車約15分 愛大農学部前下車

本学では、推薦入試の個人成績及び調査書（「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄は除く。）を受験者本人に限って開示します。令和2年度入学試験の個人成績及び調査書の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和2年5月1日(金)～令和2年5月31日(日)

郵送による請求のみとし、この**期間内の消印**があるものに限り受け付けます。

請求方法：書面（記入例参照）により、令和2年度愛媛大学受験票又は令和2年度大学入試センター試験受験票と、414円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（74ページ参照）へ請求してください。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：当該学部に着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

（請求書面記入例）

令和2年 月 日	
愛媛大学〇〇学部長 殿	
請求者氏名 _____ ⑨	
愛媛大学受験番号 _____	
連絡先 電話 - -	
入学試験個人成績・調査書 開 示 請 求 書	
令和2年度の推薦入試について、下記のとおり開示請求します。	
記	
1. 試験成績 2. 調査書 開示請求するものを明記してください。	

本学では、令和2年度入学試験の正解・解答例又は出題意図の開示を次のとおり行います。

（法文学部、医学部、農学部のみ）

掲示による場合

場 所：各学部掲示場

掲示期間：開示日から2週間

郵送による場合

94円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封し、「志願学部の正解・解答例又は出題意図の開示請求」と朱書きの上、志願した学部の入試係（74ページ参照）へ請求してください。

受付期間：原則として開示日以降1か月間

14 個人情報情報の取扱い

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

15 入学試験の照会方法

入学試験について文書にて照会する場合は、84円分の切手を貼った定形の返信用封筒を同封してください。インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは、出願操作サポート窓口（コールセンター）（9ページ参照）へ連絡してください。

学 部	入 試 係 の 住 所 ・ 電 話	
法 文 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部入試係	TEL 089-927-9221
教 育 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学部入試係	TEL 089-927-9377
理 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学理学部入試係	TEL 089-927-9546
医 学 部	〒791-0295 東温市志津川454 愛媛大学医学部入試係	TEL 089-960-5175
工 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学工学部入試係	TEL 089-927-9697
農 学 部	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 愛媛大学農学部入試係	TEL 089-946-9648

16

資料

■平成31年度 入学者選抜当初合格者の成績一覧

区 分	学 部	学 科 ・ 課 程 等		募集 人員	当初 合格 者数	大学入試センター試験				個 別 試 験				総 合 点			
						満 点	最高点	最低点	平均点	満 点	最高点	最低点	平均点	満 点	最高点	最低点	平均点
推 薦 入試Ⅰ	法 学 部	人文社会科学「昼間主コース」		15	15					800	602.67	544.67	570.89	800	602.67	544.67	570.89
		人文社会科学「夜間主コース」		10	10					800	573.33	528.67	553.20	800	573.33	528.67	553.20
	教 育 部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	10	10					300	250.00	217.00	229.90	300	250.00	217.00	229.90
	理学部	理 学 科	生 物 学 コ ー ス	7	8					300	開示しない			300	開示しない		
			地 学 コ ー ス	12	13					300	開示しない			300	開示しない		
	工学部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	2	2					600	開示しない			600	開示しない		
			知能システム学コース	2	1					600	開示しない			600	開示しない		
			電気電子工学コース	5	5					600	開示しない			600	開示しない		
			コンピュータ科学コース	2	2					600	開示しない			600	開示しない		
			材料デザイン工学コース	2	2					600	開示しない			600	開示しない		
			化学・生命科学コース	3	3					600	開示しない			600	開示しない		
			社会基盤工学コース	5	6					600	開示しない			600	開示しない		
			社会デザインコース	3	3					600	開示しない			600	開示しない		
	農学部	食料生産学科	推薦A	8	9					200	開示しない			200	開示しない		
			推薦B	10	4					200	開示しない			200	開示しない		
					2					200	開示しない			200	開示しない		
					5					200	開示しない			200	開示しない		
		生命機能学科	推薦A	3	4					200	開示しない			200	開示しない		
			推薦B	3	3					200	開示しない			200	開示しない		
		生物環境学科	推薦A	9	9					200	開示しない			200	開示しない		
			推薦B	7	2					200	開示しない			200	開示しない		
					3					200	開示しない			200	開示しない		
					1					200	開示しない			200	開示しない		

区 分	学 部	学 科 等		募集 人員	当初 合格 者数	大学入試センター試験				個 別 試 験				総 合 点			
						満 点	最高点	最低点	平均点	満 点	最高点	最低点	平均点	満 点	最高点	最低点	平均点
推 薦 入試Ⅱ	理学部	理 学 科	数学・数理情報コース	10	5	500	開示しない			500	開示しない			1,000	開示しない		
			物 理 学 コ ー ス	5	4	500	開示しない			500	開示しない			1,000	開示しない		
			化 学 コ ー ス	8	4	500	開示しない			500	開示しない			1,000	開示しない		
	医学部	医 学 科	推 薦 A	25	25	900	842.20	710.00	765.79	400	361.00	311.50	336.62	1,300	1,189.70	1,035.50	1,102.41
			推 薦 B	20	20	900	804.30	709.30	753.32	400	364.00	266.00	294.85	1,300	1,137.40	983.80	1,048.17
		看 護 学 科		24	24	400	360.40	273.70	305.84	300	255.00	191.00	213.54	700	596.40	466.90	519.38
	工学部	機 械 工 学 コ ー ス		12	13	800	553.85	451.95	509.72	200	開示しない			1,000	開示しない		
		知 能 シ ス テ ム 学 コ ー ス		2	1	800	開示しない			200	開示しない			1,000	開示しない		
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス		15	16	600	445.50	235.50	330.94	400	開示しない			1,000	開示しない		
		コ ン ピ ュ ー タ 科 学 コ ー ス		4	3	800	開示しない			200	開示しない			1,000	開示しない		
		応 用 情 報 工 学 コ ー ス		8	4	800	開示しない			200	開示しない			1,000	開示しない		
		材 料 デ ザ イ ン 工 学 コ ー ス		8	7	800	開示しない			200	開示しない			1,000	開示しない		
		化 学 ・ 生 命 科 学 コ ー ス		5	7	800	開示しない			200	開示しない			1,000	開示しない		
		社 会 基 盤 工 学 コ ー ス		5	5	800	開示しない			200	開示しない			1,000	開示しない		
		社 会 デ ザ イ ン コ ー ス		3	3	800	開示しない			200	開示しない			1,000	開示しない		

注) 募集人員又は当初合格者が10人未満の場合は開示しないことになっています。また、個別学力検査等において、面接、グループディスカッション、出願書類（調査書、活動調査書等）の組み合わせのみで評価する場合は、個別学力検査等の開示はしません。
は、大学入試センター試験を課さないものです。

■平成31年度 志願者数等状況

推薦入試Ⅰ

学 部	学 科 ・ 課 程 等			募集 人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数		
					男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計
法文学部	人 文 社 会 学 科 「 昼 間 主 コ ー ス 」			15	23	44	67	4.5	23	44	67	3	12	15	4.5	3	12	15
	人 文 社 会 学 科 「 夜 間 主 コ ー ス 」			10	14	14	28	2.8	14	14	28	4	6	10	2.8	4	6	10
	計			25	37	58	95	3.8	37	58	95	7	18	25	3.8	7	18	25
教育学部	学校教育教員 養成課程	初等教育 コース	小学校サブコース	10	13	38	51	5.1	13	38	51	1	9	10	5.1	1	9	10
理 学 部	理 学 科	生 物 学 コ ー ス		7	21	11	32	4.6	21	10	31	6	2	8	3.9	6	2	8
		地 学 コ ー ス		12	15	6	21	1.8	15	6	21	7	6	13	1.6	7	6	13
	計			19	36	17	53	2.8	36	16	52	13	8	21	2.5	13	8	21
工 学 部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス		2	2	0	2	1.0	2	0	2	2	0	2	1.0	2	0	2
		知 能 シ ス テ ム 学 コ ー ス		2	2	0	2	1.0	2	0	2	1	0	1	2.0	1	0	1
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス		5	6	0	6	1.2	6	0	6	5	0	5	1.2	5	0	5
		コ ン ピ ュ ー タ 科 学 コ ー ス		2	2	0	2	1.0	2	0	2	2	0	2	1.0	2	0	2
		材 料 デ ザ イ ン 工 学 コ ー ス		2	4	0	4	2.0	4	0	4	2	0	2	2.0	2	0	2
		化 学 ・ 生 命 科 学 コ ー ス		3	4	2	6	2.0	4	2	6	1	2	3	2.0	1	2	3
		社 会 基 盤 工 学 コ ー ス		5	6	2	8	1.6	6	2	8	4	2	6	1.3	4	2	6
		社 会 デ ザ イ ン コ ー ス		3	4	1	5	1.7	4	1	5	2	1	3	1.7	2	1	3
	計			24	30	5	35	1.5	30	5	35	19	5	24	1.5	19	5	24
農 学 部	食料生産学科	推 薦 A		8	12	10	22	2.8	12	10	22	7	2	9	2.4	7	2	9
		推 薦 B	農 業 生 産 学 コ ー ス	10	7	2	9	1.9	7	2	9	2	2	4	1.7	2	2	4
			植 物 工 場 シ ス テ ム 学 コ ー ス		3	0	3		3	0	3	2	0	2		2	0	2
			食 料 生 産 経 営 学 コ ー ス		3	4	7		3	4	7	1	4	5		1	4	5
	生命機能学科	推 薦 A		3	10	12	22	7.3	10	12	22	2	2	4	5.5	2	2	4
		推 薦 B		3	2	3	5	1.7	2	3	5	1	2	3	1.7	1	2	3
	生物環境学科	推 薦 A		9	14	6	20	2.2	14	6	20	4	5	9	2.2	4	5	9
		推 薦 B	森 林 資 源 学 コ ー ス	7	3	3	6	2.0	3	3	6	0	2	2	2.3	0	2	2
			地 域 環 境 工 学 コ ー ス		3	1	4		3	1	3	2	1	3		2	1	3
			環 境 保 全 学 コ ー ス		4	0	4		4	0	4	1	0	1		1	0	1
計			40	61	41	102	2.6	61	41	102	22	20	42	2.4	22	20	42	
合 計				118	177	159	336	2.8	177	158	335	62	60	122	2.7	62	60	122

推薦入試Ⅱ

学 部	学 科 ・ コ ー ス 等			募集人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数		
					男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計
理 学 部	理 学 科	数 学 ・ 数 理 情 報 コ ー ス	(第 1 次 選 抜)	10	4	2	6	—	4	2	6	4	2	6	/	/	/	/
			(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	/	3	2	5	1.2	3	2	5
		物 理 学 コ ー ス	(第 1 次 選 抜)	5	6	3	9	—	6	3	9	4	3	7	/	/	/	/
			(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	/	3	1	4	2.3	3	1	4
		化 学 コ ー ス	(第 1 次 選 抜)	8	4	2	6	—	4	2	6	4	2	6	/	/	/	/
			(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	/	3	1	4	1.5	3	1	4
計				23	14	7	21	—	14	7	21	9	4	13	—	9	4	13
医 学 部	医 学 科	推 薦 A	(第 1 次 選 抜)	25	35	46	81	3.2	35	46	81	16	20	36	/	/	/	/
			(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	/	11	14	25	3.2	11	14	25
		推 薦 B	(第 1 次 選 抜)	20	49	30	79	4.0	49	30	79	19	16	35	/	/	/	/
			(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	/	13	7	20	4.0	13	7	20
	看 護 学 科	(第 1 次 選 抜)	24	2	45	47	2.0	2	45	47	2	37	39	/	/	/	/	
		(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	/	1	23	24	2.0	1	23	24	
計				69	86	121	207	3.0	86	121	207	37	73	110	/	/	/	/
工 学 部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	12	28	3	31	2.6	27	3	30	11	2	13	2.3	11	2	13	
		知 能 シ ス テ ム 学 コ ー ス	2	1	0	1	0.5	1	0	1	1	0	1	1.0	1	0	1	
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス	15	16	0	16	1.1	16	0	16	16	0	16	1.0	16	0	16	
		コ ン ピ ュ ー タ 科 学 コ ー ス	4	2	1	3	0.8	2	1	3	2	1	3	1.0	2	1	3	
		応 用 情 報 工 学 コ ー ス	8	7	0	7	0.9	7	0	7	4	0	4	1.8	4	0	4	
		材 料 デ ザ イ ン 工 学 コ ー ス	8	6	1	7	0.9	6	1	7	6	1	7	1.0	6	1	7	
		化 学 ・ 生 命 科 学 コ ー ス	5	6	7	13	2.6	6	7	13	4	3	7	1.9	4	3	7	
		社 会 基 盤 工 学 コ ー ス	5	4	2	6	1.2	4	2	6	3	2	5	1.2	3	2	5	
		社 会 デ ザ イ ン コ ー ス	3	7	1	8	2.7	7	1	8	2	1	3	2.7	2	1	3	
	計				62	77	15	92	1.5	76	15	91	49	10	59	1.5	49	10
合 計				154	177	143	320	2.1	176	143	319	83	58	141	2.3	83	58	141

■平成30年度 志願者数等状況

推薦入試Ⅰ

学 部	学 科 ・ 課 程 等			募集 人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数			
					男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計	
法文学部	人 文 社 会 学 科 「 昼 間 主 コ ー ス 」			15	14	41	55	3.7	14	41	55	0	15	15	3.7	0	15	15	
	人 文 社 会 学 科 「 夜 間 主 コ ー ス 」			10	18	22	40	4.0	18	22	40	4	9	13	3.1	4	9	13	
	計			25	32	63	95	3.8	32	63	95	4	24	28	3.4	4	24	28	
教育学部	学校教育教員 養 成 課 程	初等教育 コ ー ス	小学校サブコース	10	11	25	36	3.6	11	25	36	1	9	10	3.6	1	9	10	
理 学 部	生 物 学 科			7	14	8	22	3.1	14	8	22	4	4	8	2.8	4	4	8	
	地 球 科 学 科			11	19	8	27	2.5	19	8	27	9	4	13	2.1	9	4	13	
	計			18	33	16	49	2.7	33	16	49	13	8	21	2.3	13	8	21	
工 学 部	機 械 工 学 科			2	4	0	4	2.0	4	0	4	3	0	3	1.3	3	0	3	
	電 気 電 子 工 学 科			5	9	0	9	1.8	9	0	9	6	0	6	1.5	6	0	6	
	環 境 建 設 工 学 科	土 木 工 学 コ ー ス		8	14	4	18	2.3	14	4	18	7	1	8	2.3	7	1	8	
		社 会 デ ザ イン コ ー ス		3	3	2	5	1.7	3	2	5	1	2	3	1.7	1	2	3	
	機 能 材 料 工 学 科			3	1	0	1	0.3	1	0	1	1	0	1	1.0	1	0	1	
	応 用 化 学 科			5	7	5	12	2.4	7	5	12	1	4	5	2.4	1	4	5	
	情 報 工 学 科			2	2	0	2	1.0	2	0	2	2	0	2	1.0	2	0	2	
	計			28	40	11	51	1.8	40	11	51	21	7	28	1.8	21	7	28	
農 学 部	食料生産学科	推 薦 A		8	10	12	22	2.8	10	12	22	3	6	9	2.4	3	6	9	
		推 薦 B	農 業 生 産 学 コ ー ス		10	4	4	8	1.5	4	4	8	3	0	3	1.7	3	0	3
			植 物 工 場 シ ス テ ム 学 コ ー ス			1	0	1		1	0	1	1	0	1		1	0	1
			食 料 生 産 經 営 学 コ ー ス			1	5	6		1	5	6	1	4	5		1	4	5
	生命機能学科	推 薦 A		3	2	5	7	2.3	2	5	7	0	2	2	3.5	0	2	2	
		推 薦 B		3	1	4	5	1.7	1	4	5	0	3	3	1.7	0	3	3	
	生物環境学科	推 薦 A		9	12	9	21	2.3	12	9	21	2	8	10	2.1	2	8	10	
		推 薦 B	森 林 資 源 学 コ ー ス		7	5	2	7	2.1	5	2	7	1	1	2	1.9	1	1	2
			地 域 環 境 工 学 コ ー ス			2	2	4		1	2	3	1	2	3				
			環 境 保 全 学 コ ー ス			4	0	4		4	0	4	3	0	3		3	0	3
	計			40	42	43	85	2.1	42	43	85	15	26	41	2.1	15	26	41	
合 計				121	158	158	316	2.6	158	158	316	54	74	128	2.5	54	74	128	

推薦入試Ⅱ

学 部	学 科 ・ コ ー ス 等			募集 人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数		
					男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計
医 学 部	医 学 科	推 薦 A	(第 1 次 選 抜)	25	37	48	85	3.4	36	48	84	15	18	33	/	/	/	/
			(第 2 次 選 抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	12	13	25	3.4	12	13	25
		推 薦 B	(第 1 次 選 抜)	20	46	23	69	3.5	46	23	69	25	13	38	/	/	/	/
			(第 2 次 選 抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	15	5	20	3.5	15	5	20
	看 護 学 科	(第 1 次 選 抜)	24	1	51	52	2.2	1	51	52	1	39	40	/	/	/	/	
		(第 2 次 選 抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	0	24	24	2.2	0	24	24	
	計	(第 1 次 選 抜)	69	84	122	206	3.0	83	122	205	41	70	111	/	/	/	/	
		(第 2 次 選 抜)	/	/	/	/	/	/	/	/	27	42	69	3.0	27	42	69	
工 学 部	機 械 工 学 科			11	20	0	20	1.8	20	0	20	12	0	12	1.7	12	0	12
	電 気 電 子 工 学 科			8	19	2	21	2.6	19	2	21	9	1	10	2.1	9	1	10
	環 境 建 設 工 学 科	土 木 工 学 コ ー ス		5	14	1	15	3.0	14	1	15	5	1	6	2.5	5	1	6
		社 会 デ ザ イン コ ー ス		3	7	2	9	3.0	7	2	9	2	1	3	3.0	2	1	3
	機 能 材 料 工 学 科			7	11	2	13	1.9	11	2	13	6	1	7	1.9	6	1	7
	情 報 工 学 科			7	12	4	16	2.3	12	4	16	5	3	8	2.0	5	3	8
	計			41	83	11	94	2.3	83	11	94	39	7	46	2.0	39	7	46
合 計				110	167	133	300	2.7	166	133	299	66	49	115	2.6	66	49	115

■平成29年度 志願者数等状況

推薦入試Ⅰ

学 部	学 科 ・ 課 程 等			募集 人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数		
					男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計
法文学部	人 文 社 会 学 科 「 昼 間 主 コ ー ス 」			10	29	44	73	7.3	29	44	73	1	9	10	7.3	1	9	10
	人 文 社 会 学 科 「 夜 間 主 コ ー ス 」			10	16	27	43	4.3	16	27	43	4	10	14	3.1	4	10	14
	計			20	45	71	116	5.8	45	71	116	5	19	24	4.8	5	19	24
教育学部	学校教育教員 養 成 課 程	初等教育 コ ー ス	小学校サブコース	10	12	38	50	5.0	12	38	50	0	10	10	5.0	0	10	10
理 学 部	生 物 学 科			7	9	9	18	2.6	9	9	18	3	4	7	2.6	3	4	7
	地 球 科 学 科			8	14	8	22	2.8	14	8	22	6	5	11	2.0	6	5	11
	計			15	23	17	40	2.7	23	17	40	9	9	18	2.2	9	9	18
工 学 部	機 械 工 学 科			2	2	0	2	1.0	2	0	2	2	0	2	1.0	2	0	2
	電 気 電 子 工 学 科			5	6	0	6	1.2	6	0	6	5	0	5	1.2	5	0	5
	環 境 建 設 工 学 科	土 木 工 学 コ ー ス		8	22	3	25	3.1	22	3	25	5	3	8	3.1	5	3	8
		社 会 デ ザ イ ン コ ー ス		3	6	7	13	4.3	6	7	13	1	3	4	3.3	1	3	4
	機 能 材 料 工 学 科			3	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	－	0	0	0
	応 用 化 学 科			5	3	11	14	2.8	3	11	14	1	4	5	2.8	1	4	5
	情 報 工 学 科			2	6	1	7	3.5	6	1	7	3	0	3	2.3	3	0	3
	計			28	45	22	67	2.4	45	22	67	17	10	27	2.5	17	10	27
農 学 部	食料生産学科	推 薦 A		8	13	21	34	4.3	13	21	34	3	6	9	3.8	3	6	9
		推 薦 B	農 業 生 産 学 コ ー ス		4	2	6	1.7	4	2	6	2	1	3	1.7	2	1	3
			植 物 工 場 シ ス テ ム 学 コ ー ス		2	1	3	2	1	3	2	0	2	2	0	2		
			食 料 生 産 経 営 学 コ ー ス		3	5	8	3	5	8	2	3	5	2	3	5		
	生命機能学科	推 薦 A		3	6	11	17	5.7	6	11	17	1	2	3	5.7	1	2	3
		推 薦 B		3	4	5	9	3.0	4	5	9	0	3	3	3.0	0	3	3
	生物環境学科	推 薦 A		9	14	6	20	2.2	14	6	20	5	4	9	2.2	5	4	9
		推 薦 B	森 林 資 源 学 コ ー ス		3	2	5	2.1	3	2	5	1	2	3	1.7	1	2	3
			地 域 環 境 工 学 コ ー ス		2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3		
			環 境 保 全 学 コ ー ス		7	0	7	7	0	7	3	0	3	3	0	3		
	計			40	58	54	112	2.8	58	54	112	21	22	43	2.6	21	22	43
合 計				113	183	202	385	3.4	183	202	385	52	70	122	3.2	52	70	122

推薦入試Ⅱ

学 部	学 科 ・ コ ー ス 等			募集 人員	志 願 者 数				受 験 者 数			合 格 者 数				入 学 者 数		
					男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計	倍率	男	女	計
医 学 部	医 学 科	推 薦 A	(第 1 次 選 抜)	25	33	37	70	2.8	33	37	70	12	19	31	/	/	/	
			(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	9	16	25	2.8	9	16	25	
		推 薦 B	(第 1 次 選 抜)	20	32	28	60	3.0	32	28	60	13	20	33	/	/	/	
			(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	10	10	20	3.0	10	10	20	
	看 護 学 科	(第 1 次 選 抜)	24	2	53	55	2.3	2	53	55	2	37	39	/	/	/		
		(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	1	23	24	2.3	1	23	24		
	計	(第 1 次 選 抜)	69	67	118	185	2.7	67	118	185	27	76	103	/	/	/		
		(第 2 次 選 抜)		/	/	/	/	/	/	20	49	69	2.7	20	49	69		
工 学 部	機 械 工 学 科			11	23	2	25	2.3	23	2	25	11	0	11	2.3	11	0	11
	電 気 電 子 工 学 科			8	9	0	9	1.1	9	0	9	7	0	7	1.3	7	0	7
	環 境 建 設 工 学 科	土 木 工 学 コ ー ス		5	11	1	12	2.4	8	1	9	4	1	5	1.8	4	1	5
		社 会 デ ザ イ ン コ ー ス		3	1	5	6	2.0	1	5	6	1	2	3	2.0	1	2	3
	機 能 材 料 工 学 科			7	11	1	12	1.7	11	1	12	6	1	7	1.7	6	1	7
	情 報 工 学 科			7	21	2	23	3.3	21	2	23	7	0	7	3.3	7	0	7
	計			41	76	11	87	2.1	73	11	84	36	4	40	2.1	36	4	40
合 計				110	143	129	272	2.5	140	129	269	56	53	109	2.5	56	53	109

愛媛大学入試情報サービス

本学では、入学試験に関する情報を、ホームページ及びスマートフォン・携帯電話サイトで提供します。

なお、自然災害等の発生による試験日程、試験会場の変更等が生じた場合には、「緊急時のお知らせ」として提供することがありますので、ご参照願います。

◆ ホームページ

本学のホームページでは、「入試情報」の中で、成績開示や各入試の情報等を提供しています。

愛媛大学 <https://www.ehime-u.ac.jp>

入試情報 <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/>

学生募集要項ダウンロード <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>



《提供する入試情報》

提 供 す る 入 試 情 報	提 供 時 期
AO入試Ⅱ学生募集要項 社会人入試学生募集要項	令和元年9月中旬～
一般入試学生募集要項	令和元年11月上旬～
大学入試センター試験受験の案内	令和元年12月中旬～
一般入試の出願状況	令和2年1月末～
一般入試合格状況、入学手続の案内	令和2年3月上旬～
追加合格（一般入試）及び欠員補充第2次募集の有無	令和2年3月28日～

（注）提供する入試情報は、変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛媛大学ホームページの他、以下のサイトからでも本学に関する情報を閲覧できます。

「マナビジョン」

URL <https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/school/1410/>



「がんばれ国立大学受験生!!」

URL <http://daigaku.jp/ehime-u/>

